

会長のページ 災害時医療(再) .....	河野 雅行	3
日州医談 地域医療・介護体制の課題と展望 .....	吉見 雅博	4
退任挨拶 宮崎大学医学部教授退任挨拶 .....	天野 正宏	6
はまゆう随筆(その1) .....		7
北村 和生, 重永 哲洋, 田中 宏幸, 塚本創一郎		
小澤 仁雄, 田島 直也		
エコー・リレー(599) .....	小山田 剛, 長友 安弘	13
メディアの目 ぶたカツのすすめ		
～トンカツと、もうひとつの幸福論～ .....	前田 憲之	14
身近なお困りごと相談室 .....	高山 桂	15
国公立病院だより えびの市立病院 .....	河内 謙介	24
宮崎大学医学部だより 血液・血管先端医療学講座 .....	鶴田 敏博	26
部会だより 労災部会 .....	佐藤 信博	27
ニューメンバー .....	大久保和樹	42
社会保険診療報酬請求書審査委員会委員名簿(医科) .....		43
診療メモ 通院患者死亡時の警察対応と医師の留意点 .....	柳田美津郎	66
宮大医学部学生のページ 部活動紹介～軟式テニス部～ .....	日高 想大	68

表彰・祝賀 .....		12
あなたできますか?(令和6年度医師国家試験問題より) .....		16
宮崎県感染症発生動向 .....		18
各郡市医師会だより .....		22
令和7年度都道府県医師会広報担当理事連絡協議会 .....		28
日医インターネットニュースから .....		32
医師協同組合だより .....		34
会員の異動・変更報告 .....		36
ベストセラー .....		42
理事会日誌 .....		44
県医の動き .....		48
ドクターバンク情報 .....		49
行事予定 .....		55
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会 .....		59
あ と が き .....		76

お知らせ 医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください! .....		17
第26回宮崎県医師会医家芸術展 .....		21
MAMIS稼働にあたっての留意点 .....		30
令和7年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生採用のお願い .....		47
日州医事へのご意見・ご感想 .....		53
第9回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集 .....		57
郡市医師会への送付文書 .....		70
地球温暖化防止対策(クールビズ)の実施について .....		73
医療勤務環境改善支援センター .....		74
日州医事原稿募集のお知らせ .....		75

## 医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

〔表紙作品：色鉛筆画〕

### 風車の見える水辺の風景

青い空と水辺のコントラストがとても鮮やかな風景写真を見て、色鉛筆で描いてみました。これからもいろんな風景画にチャレンジしていきたいと思います。

宮崎市 黒川基樹

## 会長のページ

## 災害時医療（再）

かわ の まさ ゆき  
河 野 雅 行

昨年の能登半島地震を始めとして風水害などの多種多様な災害が多発し、しかも大規模になっています。県内でも小規模の災害は頻回に発生しています。災害時の行政の対応と同様に医療の対応も重要です。以前の災害時には手探り状態であったものが、昨今行政では直ちに対策本部が設置され、相応の訓練もなされています。県医でも委員会で対策を練り、県の災害訓練時には参加しています。しかし、災害には予測困難な状況が多すぎます。災害の発生する時間、規模などを始めとして種類も地震、津波、水害、広域台風、大火、火山噴火、我が国では例がない戦災・テロ等々多々あります。医療機関自体の被災も想定しなければなりませんし、想定外への対応は困難で訓練にも限度があります。それでも基本的な訓練は必要です。

広範囲にわたる災害、県境付近での発生、県央部でも程度によっては隣県の協力が必要になる場合も想定されます。ハザードマップでは洪水や津波は免れる地域でも、地震による液状化により、多くの機能不全が懸念されています。九州医師会連合会では大規模災害や県境災害に備えて災害時医療救護協定を締結し、運用マニュアルを整備しています。しかし、いまだ具体的な訓練はありません。宮崎県では早速、隣県の鹿児島県から始めることにして、先日、鹿児島県・牧角会長、大西副会長以下担当理事および事務局にご来県いただき協議を行いました。沖縄県からも出口担当理事がオブザーバーとして参加されました。今後はWGで協議を重ねて具体的な連携や訓練までまとめて、将来は熊本県、大分県さらには直接被害の及ばないような離れた県とも協議を行いたいと考えております。

災害は多方面の対策が必要なので、行政が中心となるのは当然です。医療面ではDMAT、JMATなどが活動します。双方の機能がほとんど重複していますので、同様の経費補助や安全保障なども要望したいと考えています。県医の協力としては担当の落合常任理事が宮崎大学医学部 救急・災害医学分野 教授でもあり、以前から県の組織に参加しており、今のところ行政との連携には問題ありません。

災害時医療にはさまざまなサポートが求められますが、最も重要なのは被災地医療機関の正常業務復帰への援助です。災害時医療も根本は通常地域医療の延長にあります。現在のように限界いっばいの地域医療では緊急時にはすぐに破綻してしまいます。災害時にも柔軟に対応できるようにするには、会員の先生方がご自分の事と考え備えて、日常の医療を堅固にして余裕を持たせておく必要があります。

(令和7年6月19日)

## 日州医談



## 地域医療・介護体制の課題と展望

宮崎県医師会 常任理事 <sup>よし</sup>吉 <sup>み</sup>見 <sup>まさ</sup>雅 <sup>ひろ</sup>博

昨年6月に医療・介護・障害福祉の診療報酬改定、いわゆるトリプル改定が行われて早一年が経過しようとしています。一部報酬が上がったものの昨今の光熱費や物価高騰の波をもろに受けて、職員の賃上げは困難、あるいは賃上げをしたとしても他業種と比べ低いいため離職される、新規職員の確保も難しいという状況が続いていると聞いています。

外国人人材も増えてきましたが、5年経過すれば原則帰国しなければなりません。社会福祉士の国家資格を取得することで、在留資格「介護」に変更し、無期限で就労することが可能ですが、その資格取得のための資金支援はそれぞれの事業所で負担せねばならず、簡単に取得推進とはできない事業所が多いと思います。

このような状況下でも、今すぐにでも取り組まなければならないのが災害時の医療・介護対応です。

私の所属する医療法人には、クリニック、病院、介護老人保健施設、認知症グループホームがあり、その他にも複数の介護施設の嘱託医をしております。ある程度の災害時のマニュアルは作成しているものの、実際に実効性があるか疑わしく、各施設間での取り決めもなく、まさに今南海トラフ大地震が起きれば…想像もしたくありません。

先日映画「フロントライン」を鑑賞し、あのダイヤモンドプリンセス号でのDMATの対応や

その他関係各所の連携は想像を絶する大変さであったのだろうとあらためて認識しました。中でもやはり重要だと感じたのは普段から顔の見える関係性を持っていた方が、こういった災害時などの対応がスムーズに行えるのではないかとことです。マニュアル作りやBCPの策定も確かに重要で必要なことではありますが、災害時に手を取り合って助け合うことになるであろう各施設との関係強化も非常に重要なことであると考えます。

かかりつけ医である立場から、各施設との関係構築を見直し、あらためて小さな枠組みからでもネットワーク作りを考えてみてはいかがでしょうか？私も機会を見て少しずつでも普段から顔の見える関係性作りを行っていこうと考えております。

以上のことは、手間のかかる大変なことではありますが、この関係構築は、今後、地域リハビリテーションにも関わってくると考えております。地域リハビリテーションには、障害者や高齢者が住み慣れた地域で、その人らしくいきいきと生活できるよう、生活に関わるあらゆる面から支援することが求められております。宮崎県では、県が設置予定の地域リハビリテーション支援センターを中心に、地域リハビリテーション支援体制を整備していくための検討がなされています。地域に暮らす人たちとの関係性が構築でき、うまく横の連携も取れるので

あれば災害関連死などを防ぐことにもつながると考えます。

また、こうしたコミュニティー作りを介して、今後の課題、2040年問題にも目を向けてみましょう。今年、2025年問題の当該年です。2025年問題とはご存じのとおり、日本における少子高齢化と人口減少、さらに団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となることで、社会保障費の増大、医療・介護サービスの逼迫、労働力不足など、さまざまな社会問題が深刻化することを指します。

私は先日50歳となりましたが15年後の2040年は前期高齢者に当たる65歳になっています。そのころもまだまだ元気に趣味のトライアスロンを続けて、できれば海外の観光地で行われるレースに参加したいと考えております。

しかし、そこに立ちほだかるのがまさに2040年問題です。日本の少子高齢化と人口減少が2040年ごろにピークを迎えることで、社会保障制度の持続可能性、労働力不足、インフラ老朽化など、さまざまな分野で深刻な問題が顕在化すると予測されています。高齢者1人を支える現役世代の人数は、1965年が9.1人、2012年が2.4人でしたが、2040年には1.5人で支えなければならないというのです。できるだけ介護負担の重い高齢者を少なくすることが非常に重要と考えます。

例えば、今日先生方のところを受診された50歳前後で今はまだまだ若いと思っている患者さんも2040年には高齢者です。まさに生活習慣病で受診されているのであれば今後のイベント抑制は個人だけではなく、その家族ひいては地域社会にも重要となってきます。今年度の特定健診も始まりました。健診時にそういった将来に向けた考えもぜひ受診者に伝えていただくと幸いです。

認知症予防も非常に大事になってきます。2024年の「ランセット」の専門家委員会による報告書では、ライフステージごとの認知症リスク要因である14項目をすべて取り除けば、認知症を最大で45%予防できる可能性があるとされています（表）。認知症のリスクは年齢とともに上がっていきませんが、若いころからやはり血圧・体重コントロールは重要で飲酒も…と耳が痛いことばかりです。しかし、こういった積み重ねで今後の地域医療や介護の負担は変わってきます。高齢患者さんの受診時に付き添いされているご家族へのお声かけも検討くださると幸いです。

今後も医療、介護そして在宅医療が継続できるため今対応すべき災害時のことと来るべき2040年問題に対して考えていただければ幸いです。

表. 認知症予防の14のポイント

年 齢	リスク要因	予防可能割合 (%)
0～18歳	教育機会の不足	5
	難聴	7
18歳～65歳	高LDLコレステロール*	7
	うつ病	3
	頭部外傷	3
	運動不足	2
	糖尿病	2
	喫煙	2
	高血圧	2
	肥満	1
	過度の飲酒	1
	65歳以上	社会的孤立
大気汚染		3
視力障害*		2

※は2024年版の報告書で新たに追加された要因

出典：「Dementia prevention, intervention, and care: 2024 report of the Lancet standing Commission」2024. 7. 31を基に作成

## 退任挨拶



## 宮崎大学医学部教授退任挨拶

宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 皮膚科学分野 あま の まさ ひろ 天 野 正 宏

1977年井上勝平先生を初代教授として皮膚科学教室は開講いたしました。2代目教授瀬戸山充先生の後、2015年5月3代目皮膚科教授を拝命し、2025年3月定年退職いたしました。10年間という短い期間でしたが、宮崎県医師会の皆様をはじめ、宮崎県皮膚科医会並びに宮崎皮膚科地方会の先生方には大変お世話になりました。そしてこれまで私を支えていただいた宮崎大学医学部、宮崎大学皮膚科同門会、皮膚科医局員にはこの場をお借りして深謝申し上げます。この10年間の主な出来事を振り返りたいと思います。

## 診 療

この10年間当科では“最後の砦”として全県から重症熱傷、皮膚がん、重症薬疹など積極的に受け入れてまいりました。これも初代井上勝平教授が築かれた開業医の先生方と、県立病院など基幹病院、そして大学病院という病診連携がうまく機能したからに他なりません。地域医療では県立延岡病院皮膚科常勤2名体制への復活、日向・入郷地区（千代田病院）に皮膚科常勤医2名体制、県立日南病院皮膚科にひとり医長ではありますが常勤医の復活、そして都城・北諸県地区（藤元総合病院）においては初めて皮膚科常勤医師を派遣することができました。県内それぞれの地域で診療を完結できるシステムが構築されました。この10年間に新たに21名の若い医師を医局に迎えることができ、今この医局員たちが実際、この地域医療を支えています。

## 研 究

持田耕介講師が生化学教室と連携し成人T細胞白血病/リンパ腫（ATLL）患者さんの皮膚病変から抽出したDNAから遺伝子解析を行い、皮膚におけるSTAT3遺伝子変異の存在がリスク因子となると報告しました。2023年から宮崎大学臨床研究支援センター支援のもと「皮膚病変を有するATLL患者に対するヒドロキシクロキンの有効性・安全性を検討する単施設・

非盲検・単群試験」の医師主導治験を継続中です。また西川陽太郎講師が免疫学教室と連携し「アトピー性皮膚炎モデルマウスを用いたアトピー性皮膚炎の病態解明」の研究を開始しております。そしてこれまで白木公康富山大学名誉教授と外山望医師が二人三脚でまとめられていた帯状疱疹の疫学研究「宮崎スタディ」を2024年度から宮崎大学皮膚科学教室が引き継ぐことになりました。今後も宮崎大学から世界へ研究成果を発信し続けたいと思います。

## 教 育

この10年間、通常の卒前・卒後教育はもちろんですが、皮膚科で臨床実習を希望する海外の医学生を積極的に受け入れました。これまでタイ5名、中国1名、スペイン1名を受け入れています。また夏休みには医学生を皮膚科専門医不在の地域へ帯同し、皮膚がんに関する医療講演会と無料医療相談を行いました。これまで五ヶ瀬町、西米良村、椎葉村、えびの市、都農町を訪れています。実際、医学生は医療相談者の問診を通して地域医療を実体験できるため、大変好評でした。

## 主な学会

## 第73回日本皮膚科学会西部支部学術大会

(2021年10月30日～31日)

会場 シーガイアコンベンションセンター（宮崎市）  
学会テーマ

「世界を視野に地域から始める皮膚科学」

## 第40回日本皮膚悪性腫瘍学会

(2024年5月10日～11日)

会場 シーガイアコンベンションセンター（宮崎市）  
学会テーマ 「ウイルスの発癌機構を極める」

定年退職後4月から古賀総合病院皮膚科に勤務しておりますので、お近くにお寄りの際はお声がけください。皆様のますますのご発展とご健勝を祈念しております。

## はまゆう随筆

その1

(7, 8月号に分けて掲載しております)

## 奴らは群れでやって来る

日南市 北村胃腸科眼科 <sup>きた</sup>北 <sup>むら</sup>村 <sup>まさ</sup>應 <sup>お</sup>旺 (和生)

タイトルにピンときた方は、かなりのB級SFマニア。映画「スターシップトゥルーパーズ」のキャッチコピーなのだ。奴らとは恐竜、今やトリと名前を変えている。数年前まで、自宅3階の空中庭園では、各種のバラに加えてたくさんブルーベリー、ジューンベリーが山のように実をつけ、6~7月ともなるとそのハーベストに追われていたものだ。それらは朝の食卓でヨーグルトをかけて食べたり、ジャムに加工して保存したり、1年を通して食卓を彩ってきた。

ところが2年前から、ジューンベリーがほとんど採れなくなった。春先には花がたくさん咲き、実もついているのだ。原因はトリによる食害だった。雀のような小鳥の群れがやってきて、ほぼ1日中食べ放題。そのうち、30cmほどのやや大型のトリが、ペアで何組もやって来るようになった。妻の調べによると磯ヒヨドリというらしい。大胆にもすぐ近くまで来て、プランターに溜まった水で日に何度も気持ちよさげに水浴びをし、たらふく食う。実に腹立たしい。大量のふん害にも大憤慨だ。

寛大だった私も、ついに庭に飛び出した。すると、私を取り囲むように散開し、みんなで一斉にピークパークやり始める。私にはそのトリ語がよく分かる。「飛べねードケチ野郎が、ワシらの大切な食べ物を横取りしようとしてるぜ」「とんでもねー野郎だ。抗議だ、抗議だ」。負けじと私も言い返す「うっせー!毛むしり取って焼き鳥にして食っちゃまうぞ」。こ

ちとら港油津育ち、口も悪けりゃ気も荒い。ただ、私の脅しが奴らには通じない。気を取られている隙に、あろうことか、もぎたてのブルーベリーをてんこ盛りしたボウルから次々に横取りされていく。「ここまでおいで、ピヨピヨピー」。完全になめられている。おッのれ〜、ここに一振りの剣あらば北辰二刀流奥義、電光石火の“ヒヨドリ返し”で刀の錆にしてくれようものを! くッ悔しいかな、時空は奴らの味方だ。妻も「トリさんたちにもあげたらいいわ〜」などと女神様みたいに寛大だ。おすそ分けどころではないのに…ただ、この戦いはどうやったって分が悪い。やはりバリヤー張るしかないのか。そういえば、数年前までは、愛犬が番をしてくれていたに違いない。ウェルシュ・コーギー、短足ながら顔と吠え声だけはドスが効いてたものなあ。愛しのチャンギー! 亡くして初めて知る“非存在の耐えられない重さ”よ。



モッコウバラの茂みの中に、木の枝で編まれた磯ヒヨドリの巣と2個の卵を発見。目玉焼きにという邪悪な考えは、見守ろうという親心にたちどころに変わった。しかし…その後、一向に現れない親鳥たち。まさかのネグレクト(育児放棄)?

## 米国胸部学会ATS 2025サンフランシスコ参加報告

日之影町 日之影町国民健康保険病院 <sup>しげ</sup>重 <sup>なが</sup>永 <sup>てつ</sup>哲 <sup>ひろ</sup>洋

5月に自治医科大学呼吸器内科の坂東教授のお勧めで米国胸部学会に参加しました。世界中から呼吸器疾患，集中治療，睡眠医学における最先端の知見が集約され，多岐にわたるセッションや発表，そして何より世界中の専門家との交流を通じて深い感銘と多くの学びを得ることができました。世界的な死因の第4位を占めるCOPDに関しては新たな生物学的製剤の臨床試験結果から個別化された治療戦略への展望が示されました。

サンフランシスコは治安の悪化から商店の閉業が多く人通りが減り，実用化された無人タクシーの行き交う街になりました。今回私はついに完全自動運転無人タクシーに初乗車しました。専用アプリでライドシェアと同じ要領で目的地を検索すると，料金と予想到着時間が表示され事前決済で予約完了し数分後にはアプリに表示された場所にまるで未来から来たかのような，丸みを帯びた車体が静かに停車していました。多くのセンサーを架装されたジャガーのSUV (I-PACE) で，運転席には誰もいません。スマホでロック解除し後部座席に乗り込みました。乗車を確認するとドアが閉まり，電動車特有の低速トルクを生かした発進加速で走行を開始しアクセルもステアリングもウインカー操作もすべて機械が制御しているという事実にあらためて驚かされます。ダウンタウンの坂道を，まるで熟練のドライバーのように淀みなく上り下りしていく様子はまさに圧巻でした。車内は清潔で，タブレットには走行ルートや周辺

の状況がリアルタイムで表示されます。まるでSF映画の中にいるような不思議な感覚に包まれました。周囲の車や自転車，歩行者をセンサーが捉え，滑らかに速度を調整する様子を見ていると，その高度な技術にただただ感心するばかりでした。今回の体験は未来の移動手段を垣間見る貴重な機会となり，想像以上の快適性と便利さが衝撃でした。



## 春夏秋冬は永遠に続くか？

た なか ひろ ゆき  
宮崎市 神宮医院 田 中 宏 幸

今年4月、『四季はいずれ二季になる』と流したTVニュースが気になっている。4つの季節のうち春と秋は消える，と聞こえた。『3月に桜が満開となり，5月には蝉が鳴き，7月以降は40℃を越す日が続いて9月に盛夏を迎える。10月には台風が増えるが，11月になっても蚊が飛び続け，12月になれば雪の中で紅葉が観られる』と続けたのだ。

我が国では冬・夏の後には次第に気温が推移して春と秋を迎え、日本らしい四季折々の風景を醸し出す。それが近い将来、夏・冬と他の時期の寒暖の差が一気に大きく開き、恐らく日内変動もそうなるであろう。もしかしたら梅雨がなくなる代わりに、今は熱帯の地域に特有な『雨季』が日本にも出現し、雨季の間は毎日1時間のスコールに見舞われ、その後すぐに強い日差しを浴びることになるかもしれない。北海道の気象変動も見逃せず、冬眠する動物への影響も多大なはずである。花粉症や季節の変わり目に増えるとされる疾患も、その質が大きく変わるかもしれない。何もこれらは日本国内に限った話ではなく、短期間での新興感染症のアウトブレイクも危惧される。

今後も続くであろう毎年恒例の決まった趣味を持つ身には、予定表が狂う可能性が出てきた。3月末～4月初旬には五ヶ瀬町へ『300本の枝垂れ桜』を観に行くので1月には高千穂町内のホテルを予約し、また10月末～11月いっぱいまでは県内のすみずみまで遠出して真っ赤な葉をほぼ毎週探し回っている。仮に気候が大きく変化すれば寒冷には耐えるしかないが、雪道を走った試しがないので外出自体を躊躇するに違いない。また沖縄やインドなどの亜熱帯・熱帯地方で栽培される国内外のトロピカル・フルーツの入荷が今後どうなるか、入手経路や販売元が代わることも予想される。宮崎市内のヨット・ハーバーでの海の魚の観察も、黒潮そのものの流れが大きく外れて生物相が変化し、日々の海底観察が日射・熱風に耐えられるか心配になってくる。

しかし、以前から言われているように『今、地球は氷河期に向かっている』という科学的な事実がある。地球は約10万年周期で温暖化と寒

冷化を繰り返し、その間にも小さな温暖化と寒冷化が繰り返されていることが判っている。現在盛んに俎上に上がる『地球温暖化』は事実ではあるが、500万年スケールの長い目で見ないと判断を誤る。一方、広大な海でも海水の循環が起こっており、表層の海水が底層へ沈み込んで、底層の海水は温められて軽くなり表層へ出てくるが、一巡するには約1,000年かかると言われる。何千何万年単位の地球規模の話は気が遠くなるばかりで、この自然界に最近100年間の人為的な行為がいかに地球全体に影響を与えるのか、答えは容易に導けない。

さて、今のままでいくといずれは四季に狂いが生じることは述べたが、自身の小さな幸せを語れるうちは『地球はいまだ安泰』と信じたい。



## ネズミの実験

延岡市 延岡共立病院 つかもと そういちろう 塚本 創一郎

終戦の年、木曾の山村に生まれ今年80歳になります。この間、日本には戦争という悲劇が起こっておりません。日本史々上珍しいことで、大変ありがたい幸せなことです。

平和がもたらす恩恵で生活が向上し、医療の進歩もあり平均寿命が延長しました。そして、戦後日本の人口は増加しましたが、2004年12月をピークに減少しはじめました。出生率が減り高齢者の割合が増えています。子どもを作ることに興味のない若者が多くなったのです。

「ネズミの楽園」という実験をご存じでしょうか。1960年代にアメリカの動物行動学者 カルフーンが行った実験です。4組の雌雄のネズミを限られた空間で食料や水を十分に与え、病気になるように清潔に保ち、増やしていったらどうなったか。過密状態になるまで頭数の増えたネズミは社会性を失い、ボスの雄ネズミは凶暴となり、子どもを守らなくなり、雌たちも子どもを虐待することになる。それ以外の雄ネズミは、ある者はストーカーとなり雌につきまとい雌に嫌われ、ある者はニートになり、食べるだけで何もせず、うろつくだけになる。それ以外のネズミは 雄も雌も中性化し生殖行動をしなくなる。

その結果最後には子どもが全く生まれなくなりネズミは全滅した、という実験結果でした。恐ろしいのはネズミたちは実験の後半で子どもを産まなくなり頭数が減少し、過密状態が改善された後も社会性を取り戻すことなく全滅した、ということです。興味のある方は、ネットやYouTubeで検索してみてください。

現代の日本には、ネズミの実験の後半に見られた社会現象がちらほらと現れてきているようです。人口が減少したから、子供手当を給付し

て子どもを産ませようとするのは、ネズミの実験から考察すると失敗です。ネズミは食料が豊富にあっても子どもを産まなかったのです。もちろんネズミと比べて人間は知性をはるかに高い生物です。同じ結果にはならないと信じます。

日本の人口が減少することで生産性が低下し、経済が落ち込むと思います。しかし、限られた国土に過密にならぬ程度の人数で、快適に生きていける仕組みを作り出すのが今の日本に必要です。

## 小旅行-2

宮崎市 ござわ内科 こざわ ひとお 小澤 仁雄

3月中旬に大阪に一泊旅行をしてきました。今回も立ち寄ったお店を記したいと思います。雪がちらつく空模様でしたが、それほどの寒さでもなくモノレールで千里中央駅に向かいます。まずは果琳珈琲店に立ち寄りました。このお店のよさは静かで落ち着いた店内の雰囲気です。団体さんが若干にぎやかなこともあります。何時間でも過ごせそうな穏やかな雰囲気です。読書している方もおられました。さて地下鉄御堂筋線に乗り換えて天王寺駅で降ります。昼過ぎでちょうどお腹も空いていたので、天王寺ミオの中二階にある「赤白」に寄りました。「コウハク」と読みます。大阪に5店舗構えるカジュアルなフレンチを提供するカウンター中心のお店です。あいにく満席でしたがしばらくして通されました。どれもとてもおいしい。結局スパークリングワインを1本飲み干しサシカイクまでいただきました。ソースを売りにしたお店でかなり味は濃いのですが非常にリーズナブルでまた行きたくなります。さすがに飲みすぎたので一服し夜は胃を休めるべく天王寺ミオ

10階の「うどん穂の香」に寄りました。きつねうどんを食べましたが、関西風の薄味のだしに甘いきつねが懐かしい味わいでした。胃もたれもすっきりと落ち着きました。

翌日は地下鉄御堂筋線中津駅で降り、駅からすぐのフジオ珈琲に立ち寄りました。コーヒーをいただきましたが、かなりレトロな店内で静かで落ち着いた空間でした。少し歩くと茶屋町の丸善ジュンク堂梅田店や阪急三番街があります。さて買い物をしてから最後に千里中央駅のせんちゅうパル地下1階のラーメン屋さん「千里熊五郎」に寄りました。北大阪急行駅から上がった階にあるお店です。豚骨ラーメンのお店ですが、味噌ラーメンがうまかった。今回も心もお腹も満腹の旅でした。

## じゃがいもと私

宮崎市 野崎東病院 田 島 直 也

私は、最初の海外留学として昭和40年代に1年間、英国に留学をしました。そのときの寮、病院での食事の主食の大半は、パンよりじゃがいもでした。それ以来、じゃがいも党になりました。本日は、じゃがいもの話をします。

じゃがいもは、学名：solanum tuberosum L, 和名：じゃがいも、英名：potatoで、南アメリカのアンデス山脈が原産地とされています。じゃがいもは、新大陸を発見したスペイン人によって、15世紀から16世紀にかけてヨーロッパに広められましたが、当時のじゃがいもは食べ物ではなく、観賞用の植物だったとされ、さらにはヨーロッパに持ち帰ろうとした、スペイン人が船内で試しに食べてみたところ、芽の毒にあたったため『悪魔の植物』とも呼ばれていました。

日本には信長時代に宣教師が持ち込んだ説や千島列島南下してロシア経由での伝来の説など諸説があるようです。明治維新以降は北海道の開拓に利用されています。明治維新のとき、蝦夷地は北海道と改め、省と同格の中央官庁である北海道開拓使が設置され、そのころから北海道に広がりました。

1845年から1849年にわたりヨーロッパ全域でじゃがいも疫病が発生し、壊滅的な被害を受け、100万人から160万人にも死者が出ました。

日本では、馬鈴薯ばれいしょという呼び名もよく用いられじゃがいもの中国名も馬鈴薯で中国語音ではマリンシューとなります。

江戸時代には頻繁に飢饉が起り、その中でも一番ひどかったのが、天明の大飢饉（1782年～1787年）であるといわれています。そのとき人々を救ったのがじゃがいもで、日本では「お助けいも」と呼ばれています。

日本のじゃがいもを代表する品種の一つが「男爵」です。その食味のよさから長年にわたり親しまれています。アメリカの『アイリッシュ・コブラー』という品種で、明治時代後期に川田龍吉男爵が導入したことで、「男爵」と名付けられました。特徴としては、デンプンが多い、煮崩れしやすい（東日本流通）ことから、マッシュポテトやコロケの料理に適しています。

もう一つの代表的な品種は、メイクインです。メイクインは、『5月の女王』を意味する英語『Mayqueen』からの外来語です。大正時代に日本に持ち込まれ、初めてメイクインが栽培されたのは、北海道でメイクインは煮崩れしにくいいため、カレー・シチュー・肉じゃがの料理に好んで使われるようになりました。

皆さんも男爵とメイクインを使い分け、じゃがいもを好きになってください。

## 表彰・祝賀

## 医療功労により県知事表彰

たか	むら	かず	し	先生 (宮 崎)
高	村	一	志	
なら	はら	しんいちろう	進一郎	先生 (都 城)
檜	原			
ひら	の	まさ	ひろ	先生 (延 岡)
平	野	雅	弘	
まつ	おか	けい	こ	先生 (日 向)
松	岡	敬	子	
うち	だ	とし	ひろ	先生 (児 湯)
内	田	俊	浩	
うえ	の	なお	み	先生 (西 都)
上	野	尚	美	
と	やま	のぞむ	望	先生 (南那珂)
外	山			

令和7年6月14日、医療功労により県知事表彰をお受けになりました。  
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



高村 先生



檜原 先生



平野 先生



松岡 先生



内田 先生



上野 先生



外山 先生

# エコー・リレー

(599回)

(南から北へ北から南へ)

## 音楽で結ばれた家族の絆

都城市 小山田眼科医院 おやまだ 小山田 たかし 剛



コロナ禍のため家で過ごす時間が多くなり、家族でYouTubeを見るのが日課になりました。そんなある日、King Gnuの曲に出会い、その独特な魅力にすっかり引き込まれてしまいました。

King Gnuは、J-POPでありながら、洋楽のような新鮮なサウンドと深い世界観を持っています。聴けば聴くほど、「ライブで体験したい」という気持ちが強くなっていきました。

若いころから聴いてみたいバンドや歌手はたくさんありましたが、「いつか機会があれば」と先延ばしにしてきました。でも、コロナを経験して、「今できることは今やろう」という思いが強くなりました。

そうして念願の東京ドームのライブへ。妻の誕生日だったのですが、私と子ども3人の参加を快く送り出してくれました。会場で音楽に包まれたときの感動は、今でも忘れられません。

この素晴らしい体験を家族みんなで共有したいと思い、翌年は福岡ドームへ家族6人で出かけました。5歳の末っ子も音楽に合わせて体を揺らし、上の子たちは端の席からでもステージに釘付けでした。

同じ場所で同じ音楽を共有する時間は、きっと一生の宝物になると思います。音楽のおかげで、家族の絆がより一層深まったように感じています。

[次回は、日向市の稲原 芳生先生をお願いします]

## 宮崎市四社参り

日南市 愛泉会日南病院 なが 長 とも 友 やす 安 ひろ 弘



GWに、ある理由で四社参りを行った。参拝目的と神社のご利益とは必ずしも合致していなかったのだが、そこはご愛敬。宮崎市の自宅から車で行動を起こした。最初の目的地は生目

神社である。眼病平癒のご利益がある神社内には2組の狛犬を見た後に、COVID-19の鎮魂を祈念した亀の像が建てられていた。なぜ亀なのか？地名と土地に関係があるようであった。次に伊邪那岐命と伊邪那美命を祀る江田神社である。神様の歴史に触れつつ、緑の参道でマイナスイオンを浴びた。この近くのみそぎ(御)池もパワースポットだそうだ。これまで何度も脇の車道を通っており、知らないうちに力を得ていた。次は、「マツコの知らない世界」で取り上げられた開運の一葉稲荷神社である。朱色の鳥居の下を通って、立派な拝殿を見た。この白兔が津波を跳ねのけてくれるらしい。頼りにしている。最終地は宮崎天満宮。いわずと知れた学問の守護神が祀ってあるため、絵馬にはさまざまな大学合格祈願が書かれており、中には医学部志望もあった。隣接している天神山公園は桜の開花時におじゃまする、散歩にはもってこいの場所である。どこも人出は多くなく、半日で回ることができた。

最近の神社ブームを考えると、宮崎市の観光コースにしても悪くないと感じたが、生目神社と宮崎天満宮には急な階段があり、高齢者にはちょっとつらいと思える。同い年のトム・クルーズを見ていて、体力はつけないとダメだと痛感した次第だ。

[次回は、延岡市の前田 資雄先生をお願いします]

## メディアの目



## ブタカツのすすめ ～トンカツと、もうひとつの幸福論～

時事通信社 宮崎支局長

まえ だ のり ゆき  
前 田 憲 之

「ブタカツ」と書くと、それってトンカツの洒落なの？と思う方もいらっしゃるかもしれない。しかし人間というのは、時に揚げ物の先に、真の幸福を見出すものなのであります。

最近、ブタを推しております。「推す」という言葉もすっかり市民権を得ましたが、いわば「押しブタの活動」、略して「ブタカツ」です。トンカツの話の前にまずこちらをお聞きください。

このところ巷では「ブタカフェ」なるものが流行中。「猫カフェ」「犬カフェ」「フクロウカフェ」「ハリネズミカフェ」などと続き、ついにブタの時代がやってきたのです。犬や猫は愛らしい。けれどブタは、どこか人情があるんです。犬ほど媚びず、猫ほど気まぐれでない。ご機嫌なときにはブヒブヒと鼻を鳴らし、ドスンと膝の上に乗ってくる。その重量感と存在感。媚びないのに甘えてくるその距離感たるや。

聞くとところによれば、人は動物と触れ合うことで、脳内にオキシトシン、ドーパミン、セロトニンなど幸せホルモンがあふれ出すそうですが、ブタにはこれらに加えて心理的安らぎや親近感をもたらす特別な何かがあります。ブタは非常に知能が高く、人の感情を敏感に察知する能力があり、それが共感ホルモンであるオキシトシンの分泌をより強く促すのではないかと。特にブタ特有の温かく柔らかい体温と肌触り、リラックスした寝姿や愛らしい鳴き声は安心感と癒しを強く感じさせ、ストレスホルモンであ

るコルチゾールの低下にも寄与するのではないかと。人間に似ているという無意識の認識が、心のつながりを強め、より深い幸福感を引き出すのです。ブタとの触れ合いは単なる癒しを超えた深い心の共鳴をもたらす体験なのです。

とはいえ、トンカツも美味しい。ロースカツ定食の前に正座し、「いただきます」と手を合わせる瞬間、ブタに感謝し、そして供養しているつもりであります。これは矛盾ではなく、多層的な豚への敬愛の形——いわば供養膳です。ブタ肉にはビタミンB<sub>1</sub>やトリプトファン、必須脂肪酸の一つであるアラキドン酸といった、いかにも疲れた現代人に効きそうな栄養が豊富で、これがドーパミンやセロトニン、至福物質のアナダマイドの材料となり、つまりこれは、心と体のダブルケア。ブタは生きて癒し、去って滋養となる。この利他の精神。なんという存在の多重性。

確かに養豚場では180日程度で出荷されるという短命な命もあります。しかし、ブタカフェのブタは天寿を全うすることができる。生きるブタへの敬意と、命をいただくことへの感謝。両方あって、初めて「ブタカツ」は完成するのです。押しブタ・黒田さんの柔らかな背を撫でながら幸福をかみしめ、その後、衣サクサクのヒレカツを前に祈る。「ありがとう、すべての宇宙のブタたちよ」。その繰り返しのうちに、多元的幸福の循環があるのです。

## 身近なお困りごと相談室

本コーナーでは、「医療機関での身近な疑問や質問」について、各分野の専門家が回答いたします。

### 第47回 新聞記事の院内広報について



Q.

当院では医療関連の新聞記事をコピーし、院内広報していますが問題ないでしょうか？

当該ご質問は新聞に関する著作権が検討対象となります。著作権とは著作物（文章や絵画などが典型）を制作した際に、当然に発生する権利であるところ、新聞記事の著作権は新聞社にあります。では、院内広報で新聞記事を用いることは著作権を侵害するのでしょうか。

そもそも著作権とは、創作された文章や画像などを無断で複製・配布できないように保護する法律です。つまり、新聞の記事をそのままコピーして配布することは、原則として著作権の侵害となる可能性があります。

ただし、著作権法にはいくつか例外があります。例えば、「私的使用のための複製」や「学校その他の教育機関における使用」などの場合は、配布しても問題ありません。しかし、医療機関が職員向けに新聞記事をコピーして共有する行為は、これらの例外にはあたらない場合が多く、特に患者や外部の人にも見せるとなれば「公衆への提供」とみなされ、無断配布と指摘されるおそれがあることから、新聞社の著作権を侵害している可能性があります。

著作権に関するよくある誤解として、次のものがあります。

①「非営利目的なら大丈夫」

営利目的でなくても、複製や配布には原則として著作権者の許可が必要です。

②「院内のみで使うから大丈夫」

職員や患者など不特定多数が目にする場での掲示や配布は、私的使用の範囲を超えており、例外には該当しません。

したがって、新聞記事を院内広報に使用する場合の安全策としては以下の対応が好ましいでしょう。

① 新聞社に使用許諾を求める。

② 引用のルールを守った形で一部だけ紹介する（記事の一部を使い、出典を明記し、自らのコメントを加える）。

③ 記事の内容を要約してオリジナルの文章にする。

まとめると、新聞記事のコピーを院内で配布することは著作権侵害となる可能性があるため、慎重に扱う必要があります。許可を取るか、引用・要約の形で対応することをおすすめします。

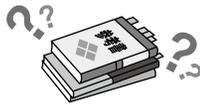
（回答 宮崎県医師協同組合顧問弁護士  
弁護士法人きさらぎ 代表弁護士 高山 桂）

A.



### <医療機関での身近な疑問、質問をお寄せください>

- 文字数：200字以内
- 質問はメール（genko@miyazaki.med.or.jp）、FAX、郵送などでお送りください。  
※匿名での掲載になります。採否は広報委員会にご一任ください。



## あなたできますか？

—令和6年度 医師国家試験問題より—

(解答は65ページ)

1. パソコンで長時間の作業をする若年労働者に生じやすい、頸部痛と上肢のしびれをきたす疾患はどれか。
  - a 頸肩腕障害
  - b 肩関節周囲炎
  - c 肘部管症候群
  - d 変形性頸椎症
  - e 頸椎後縦靭帯骨化症
2. むずむず脚症候群で正しいのはどれか。
  - a 不眠を生じる。
  - b 明け方に生じる。
  - c 上肢から生じる。
  - d 歩行を続けると増悪する。
  - e 異常感覚は脚の表面に出現する。
3. 65歳以上で定期接種の対象となるワクチンはどれか。2つ選べ。
  - a 風疹ワクチン
  - b B型肝炎ワクチン
  - c 髄膜炎菌ワクチン
  - d 肺炎球菌ワクチン
  - e インフルエンザワクチン
4. 老人性難聴で正しいのはどれか。
  - a 耳鳴は伴わないことが多い。
  - b 聴力低下は高音から始まる。
  - c 伝音難聴を示すことが多い。
  - d 補聴器の使用は極力避ける。
  - e 純音聴力検査で左右非対称性の難聴を示す。
5. 毛細血管内血液の還元ヘモグロビン濃度が5 g/dL以上になると出現し、皮膚や粘膜が暗紫色になるのはどれか。
  - a 黄疸
  - b 紅斑
  - c 紫斑
  - d 網状皮斑
  - e チアノーゼ
6. めまいを呈する疾患とその特徴の組合せで誤っているのはどれか。
  - a Ménière病 —— 難聴
  - b 小脳梗塞 —— 運動失調
  - c 聴神経腫瘍 —— 聴力低下
  - d 脳幹出血 —— 視力低下
  - e パニック症 —— 動悸
7. 児童虐待の防止などに関する法律で児童虐待の定義に規定されていないのはどれか。
  - a 性的虐待
  - b 経済的虐待
  - c 身体的虐待
  - d 心理的虐待
  - e ネグレクト
8. 介護保険で正しいのはどれか。
  - a 保険料は79歳まで支払う。
  - b 保険料は全市町村で同じである。
  - c 保険料は65歳から納付義務がある。
  - d サービス利用で自己負担は生じない。
  - e 所得によって支払う保険料が異なる。
9. 52歳の女性。健康診断の胸部エックス線写真で異常を指摘され来院した。3か月前から咳嗽が出現していたが医療機関を受診していなかった。既往歴に特記すべきことはない。職業は小学校教員。胸部単純CTで右肺上葉に気管支拡張病変と空洞を認めた。患者は喀痰検体を提出し帰宅した。同日の夕方、細菌検査室から喀痰抗酸菌染色が陽性であると医師に報告があった。この時点で医師が行う対応で正しいのはどれか。
  - a 勤務先に連絡する。
  - b 保健所に報告する。
  - c 抗結核薬を投与する。
  - d 自宅待機を指示する。
  - e 患者にN95マスクを着用させる。
10. 3歳の男児。言葉の遅れを心配した両親に連れられて来院した。有意語は2歳6か月に出現したが、2語文はなく、独特の抑揚のある発語やオウム返しがみられるという。保育園では集団行動が苦手、友達と一緒に遊ばない。いつもと異なる道で登園しようとするとかんしゃくを起こす。診察室では、視線が合いにくく、落ち着きなく歩き回り、診察に応じようとしない。診察時の適切な対応はどれか。
  - a 押さえつけて診察する。
  - b 自由に行動させて観察する。
  - c 着席するよう厳しく指示する。
  - d しつげが悪いと両親を注意する。
  - e 行動が落ち着いた時期の再受診を両親に指示する。

# 医師の求人・求職は 日本医師会 女性医師バンク をご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。  
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。



## 女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント

### 1 登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、  
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント

### 2 専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで  
きめ細かにサポートいたします。

ポイント

### 3 日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！

☎03-3942-6512 (平日10:00～17:00)

詳しくはWebサイトをご覧ください

日本医師会女性医師バンク

検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

## 宮崎県感染症発生動向 ～5月～

令和7年4月28日～令和7年6月1日（第18週～第22週）

## ■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核6例（女性6例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりであった。

3類：○腸管出血性大腸菌感染症2例：宮崎市，日南（各1例）保健所管内から報告があった。年齢は40歳代と60歳代で，主な症状として，腹痛，水様性下痢，嘔吐等がみられた。原因菌はO115（VT1），O157（VT1，VT2）であった。

4類：○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）1例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代の女性であった。

主な症状として発熱，頭痛，下痢，食欲不振，全身倦怠感，血小板減少，白血球減少，刺し口がみられた。

○日本紅斑熱8例：宮崎市（5例），都城，日南，高鍋（各1例）保健所管内から報告があった。年齢は70歳代が4例，60歳代が2例，50歳代と80歳代が各1例であった。性別は男性5例，女性3例であった。主な症状として発熱，頭痛，刺し口，発疹，DIC，肝機能異常等がみられた。

5類：○劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例：宮崎市，都城（各1例）保健所管内から報告があった。年齢は40歳代と90歳代で，主な症状としてショック，急性呼吸窮迫症候群，軟部組織炎がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症3例：宮崎市（2例），延岡（1例）保健所管内から報告があった。年齢は0～4歳，50歳代，60歳代が各1例であった。主な症状として発熱，咳，全身倦怠感，意識障害，肺炎，菌血症がみられた。

○梅毒19例（男性9例・女性10例）：保健所別報告数は【図2】，病型別報告数は【表3】，年齢別報告数は【表4】のとおりであった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，丘疹性梅毒疹等がみられた。

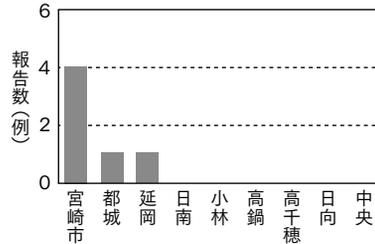


図1 結核 保健所別報告数(例)

表1 結核 病型別報告数(例)

病型	報告数(例)
肺結核	2
肺結核及びその他の結核(粟粒結核)	1
その他の結核(結核性胸膜炎)	1
無症状病原体保有者	2

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数(例)
30歳代	1
70歳代	1
80歳代	3
90歳代	1

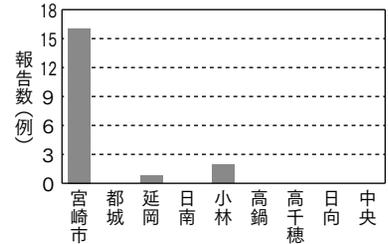


図2 梅毒 保健所別報告数(例)

表3 梅毒 病型別報告数(例)

病型	報告数(例)
早期顕症梅毒Ⅰ期	10
早期顕症梅毒Ⅱ期	5
無症状病原体保有者	4

表4 梅毒 年齢別報告数(例)

年齢	報告数(例)
10歳代	4
20歳代	8
30歳代	4
50歳代	3

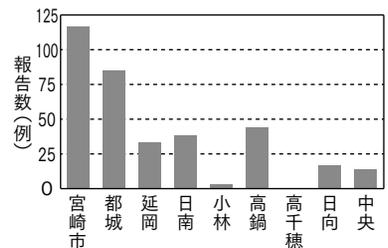


図3 百日咳 保健所別報告数(例)

表5 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数(例)
0～4歳	14
5～9歳	75
10歳代	210
20歳代	8
30歳代	6
40歳代	11
50歳代	7
60歳代	4
70歳代	3
80歳代	1

○百日咳339例：保健所別報告数は【図3】，年齢別報告数は【表5】のとおりであった。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み，呼吸苦，スタックート，ウープ，嘔吐，無呼吸発作，白血球数増多等がみられた。ワクチン接種歴は有りが234例，不明が99例，無しが6例であった。

### ■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数（急性呼吸器感染症は除く）は1,409人（定点あたり93.8）で，例年（新型コロナウイルス感染症・急性呼吸器感染症は除く）の75%であった。急性呼吸器感染症の患者報告総数は7,011人（定点あたり250.4）であった。

例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は伝染性紅斑であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は173人（11.5）で例年の約0.8倍であった。高鍋（19.0），宮崎市（17.4），日南（12.0）保健所からの報告が多く，4歳から7歳が全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は780人（52.0）で例年の約1.1倍であった。小林（120.0），日南（100.0），日向（93.0）保健所からの報告が多く，1歳から2歳が全体の約2割を占めた。

前月との比較

	2025年5月		2025年4月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	57	2.0	230	6.6	
新型コロナウイルス※1	76	2.7	190	5.4	
RSウイルス感染症	15	1.0	152	7.6	
咽頭結膜熱	76	5.1	57	2.9	
溶レン菌咽頭炎※2	173	11.5	145	7.3	
感染性胃腸炎	780	52.0	1,202	60.1	
水痘	35	2.3	19	1.0	
手足口病	17	1.1	6	0.3	
伝染性紅斑	69	4.6	48	2.4	★
突発性発しん	49	3.3	40	2.0	
ヘルパンギーナ	9	0.6	1	0.1	
流行性耳下腺炎	9	0.6	6	0.3	
急性出血性結膜炎	1	0.2	0	0.0	
流行性角結膜炎	24	4.0	16	2.7	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	1	0.1	
マイコプラズマ肺炎	7	1.0	3	0.4	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	12	1.7	13	1.9	
急性呼吸器感染症	7,011	250.4	4,743	169.4	

★例年同時期【新型コロナウイルス感染症流行前5年間（2015-2019）の平均】より報告数が多い

※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

※4月分は，定点医療機関数が5月分と異なっています。

### ■病原体検出情報（微生物部）

#### ★急性呼吸器感染症（Acute Respiratory Infection：ARI）

検出病原体		検出数	
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	5
		山形系統	0
新型コロナウイルス		5	
RSウイルス	A型	0	
	B型	0	
パラインフルエンザウイルス	1型	0	
	2型	0	
	3型	13	
	4型	1	
ヒトメタニューモウイルス		1	
ライノウイルス		16	
エンテロウイルス		0	
アデノウイルス		0	
ライノウイルス・アデノウイルス		2	
ライノウイルス・インフルエンザウイルスB型ビクトリア系統		1	
検出せず※2		30	
受付検体数		74	

○急性呼吸器感染症（ARI）※1サーベイランス検体について，急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い，検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症（ARI）：咳嗽，咽頭痛，呼吸困難，鼻汁，鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し，発症から10日以内の急性的な症状であり，かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

検出病原体		件
細菌	EPEC (OUT：HUT)	1
ウイルス	Influenza virus B (Victoria Lineage)	6
	human metapneumovirus	2
	Rotavirus groupA G3	2
	Norovirus GII.4 [P16]	1
	Astrovirus 1	1

## ■月報告対象疾患の発生動向〈2025年5月〉

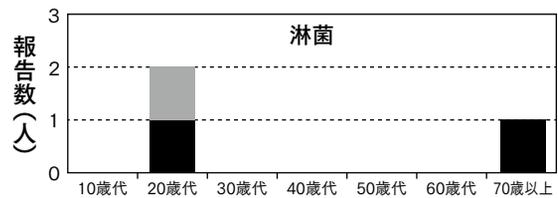
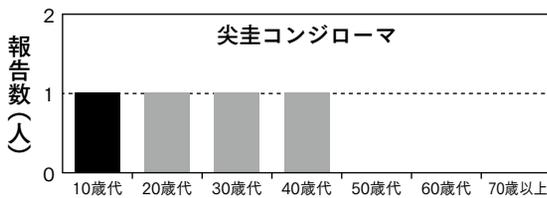
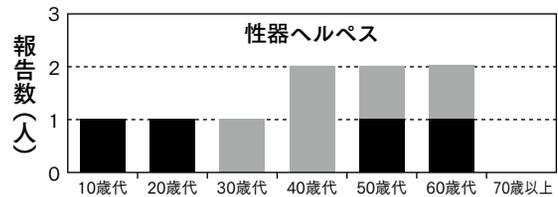
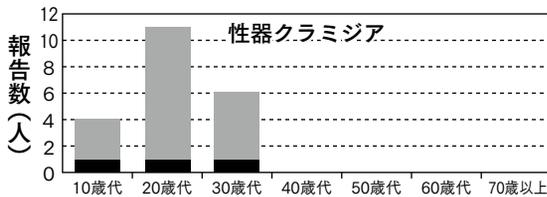
### □性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は37人（2.9）で、前月比109%と増加した。また、昨年5月（2.7）の約1.1倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数21人（1.6）で、前月の約1.0倍、昨年5月の約0.9倍であった。20歳代が全体の約半数を占めた。（男性3人・女性18人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数9人（0.69）で、前月の1.8倍、昨年5月の3.0倍であった。（男性4人・女性5人）
- 尖圭コンジローマ：報告数4人（0.31）で、前月の2.0倍、昨年5月の1.0倍であった。（男性1人・女性3人）
- 淋菌感染症：報告数3人（0.23）で、前月及び昨年5月の0.6倍であった。（男性2人・女性1人）



■男 ■女

### □薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は18人（2.6）で、前月比90%と減少した。また、昨年5月（2.4）の約1.1倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数18人（2.6）で、前月の0.9倍、昨年5月の約1.1倍であった。70歳以上が全体の半数を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

## お知らせ

## 第26回 宮崎県医師会医家芸術展

会員先生方並びにご家族の優秀な作品を一堂に展示した、医家芸術展が8月12日(火)より6日間、宮崎県立美術館にて開催されます。

今年は102点の作品が展示される予定となっております。

多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

展示期間：8月12日(火)～17日(日) 10時～18時（最終日のみ15時まで）

場 所：宮崎県立美術館 2F 県民ギャラリー  
（宮崎市船塚3-210 県総合文化公園内）

部 門：書道，絵画，写真

出 展 者：宮崎県医師会員・ご家族（高校生以上）

問合せ先：宮崎県医師会医家芸術展事務局  
（TEL 0985-22-5118 FAX 0985-27-6550）

## 書道部門

大迫 文子（宮 崎）\* 岡村 公子（延 岡） 長野 晶子（宮 崎）  
福岡 周司（南那珂） 山内 励（宮 崎） 弓削 三重子（宮 崎）\*

## 絵画部門

Siri Araki-McGuire（延 岡）\* 新木 るり（南那珂）\* 安藤 宣（西 都）\*  
石川 万佐子（宮 崎） 内田 攻（宮 崎） 上原 真大（宮 崎）\*  
蛭原 功介（南那珂） 大塚 早智（西 諸）\* 酒井 美絵子（都 城）\*  
大西 敦子（宮 崎）\* 長沼 弘三郎（延 岡） 野崎 藤子（宮 崎）  
淵脇 和男（都 城） 松本 健吾（宮大医）

## 写真部門

大森 史彦（児 湯） 木佐貫 冬星（南那珂）\* 酒井 和彦（都 城）  
酒井 桂子（都 城）\* 佐々木 究（宮 崎） 末岡 常昌（延 岡）  
田中 宏幸（宮 崎） 谷口 二郎（宮 崎） 玉置 昇（宮 崎）  
原 政樹（宮 崎） 山路 健（都 城）

（敬称略・各部門50音順・6月30日現在）

\* は会員ご家族で、カッコ内にはご家族である会員の所属都市医師会を記載しています。

## 各郡市医師会だより

### 南 那 珂 医 師 会

現在、当会は、A会員44名、B会員54名、C会員2名の計100名で、今年の年頭よりA会員が2名減少（高齢による退会と死亡退会、各1名）しました。A会員の平均年齢は、約67歳で80歳代の先生も4名おられます。

事業（医院）継続ができなかったり、新規開業入会がなければ5年後、10年後には、さらに会員が減少し、地域医療の維持が困難になると予想されます。年頭所感でも紹介しましたが、行政も医療施設の減少を危惧しており、日南市地域医療対策室が医療施設開業誘致策として、新規開業に限定して市有地購入をプロポーザル方式で募集しました。来年開業予定の医師（眼科）から1件の応募があり、2月に資金計画や運営方針などを審査し、売却が許可されました。地域に不足している産婦人科や皮膚科、耳鼻科ではありませんが、新たな医療機関が増えることを市も医師会も歓迎したところです。市有地売却は今回限りですが、さらなる誘致策として、新規開業の場合、土地取得、建築費、医療機器などに2,000万円を上限として補助支給、事業承継の場合は、機械設備を対象に上限1,000万円を補助支給する支援を打ち出しており、来年開業予定の先生も補助対象となるとの担当者のお話でした。複数年にわたって事業継続されることで会員増、および、医療機関承継に効果を期待するところです。

（中村 彰伸）

### 宮 崎 市 郡 医 師 会

産業医担当理事の役割について簡単にご紹介します。市郡医師会病院に勤務する全職員の健診結果を基に、例えば異常値を示した場合は医療機関への受診勧告を促す、などのアドバイスを各人に出します。メンタルチェックの後に面談の要望がある場合は、就業時間内に係る個人から対面で相談を受けますが、時に高度な専門知識を要します。月1回は職場巡視を行い長期休業の職員の動向などを把握し、翌月の安全衛生委員会にて報告します。産業医資格に関する会員のために産業医研修会を開催し、その司会進行を担当しています。

（田中 宏幸）

### 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

令和7年7月31日をもって当医師会の介護老人保健施設（すこやか苑）を廃止することになりました。都城のモデル定住圏計画「健康の里」の一環として昭和63年開設された同施設は、後方受け入れ施設として、医師会病院を支

える役割も担ってきました。平成27年に医師会病院が高速都城IC近くに移転後も同施設は元の場所に留まる中、コロナの影響もあり近年赤字決算でした。医師会としては不本意な結果となりましたが、今後は譲渡先で再出発することとなりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

（西浦勇一郎）

### 延 岡 市 医 師 会

今、全国の7割の病院が赤字経営であり、破綻懸念先（現時点では経営破綻の状況にはないが、将来的に経営破綻に陥る可能性が高い）が4割にも達しています。物価高騰が第1の要因です。病院には収入に限界があり、あとできる経営努力は人員削減くらいでしょうか。こんな状況で医療水準が保てるのでしょうか？医師が政治を口にするのは、はばかられるかもしれませんが、仕組みを変えなければ医療は継続できません。参議院選に立候補された「かまやちさとし先生」を応援することが必要ではないでしょうか？

（赤須郁太郎）

## 日向市東臼杵郡医師会

令和7年3月5日の春麗しきよき日に、日向看護高等専修学校第58回卒業式が執り行われました。昨年まで校長を務めさせていただいた関係で、校長として携わった15名の生徒へのせめてもの花向けに、ピアノ伴奏にて列席いたしました。君が代と仰げば尊しの2曲です。ネットで楽譜を取り寄せ練習もして挑みました。仰げば尊しを歌う学校は近年ではほとんどないと思いますが、3番までであるこのドラマティックな歌。会場からすすり泣く声が聞こえるとこみ上げてくるものがありました。

(松岡 敬子)

## 児湯医師会

令和7年4月号の日州医事 各都市医師会だよりにて、日向市東臼杵郡内で行われた『連携の会』についての記事を拝見しました。医師や看護師、ソーシャルワーカー、事務職員が集まり、圏内医療機関における横のつながりを強化する目的で開催された会とのことでした。児湯医療圏では特に夜間休日の圏外への患者流出が多く、地域貢献のためにも圏内4病院で当直医の専門科の情報を共有していますが、協力体制の構築は十分とは言えません。災害医療の分野でも、マニュアル作成や訓練より行政や医療機関との『顔の見える関係』が最も大切だとの結論に行きつきます。

(瀧井 英一)

## 西都市西児湯医師会

5月28日の日経新聞にて、厚労省が1人で複数の病院の宿直を担当できるようにする検討に入るとする記事を読み、そんなことが本当に可能なのか、疑問に思いました。地方の医師不足が原因のようです。地方の医師不足の原因は初期研修制度が原因であると思われるが、原因を改善せず地方の病院の宿直必要医師数、医療機能を減らして解決しようということです。当医師会では、西都児湯医療センターの問題があります。今後押川市長との協議が必要になりますが、市長がどういう方向で考えておられるのが、示されておらず今後は未定の状態です。

(鶴田 曜三)

## 西諸医師会

3月4日西諸の地域医療のために尽力し、奔走されていた志戸本宗徳先生が逝去されました。小林看護医療専門学校の校長も併任されており、理事会でお会いするたびに一言声をかけていただいたのを覚えております。心からご冥福をお祈りいたします。その故人が愛された地域医療はどこも困難を極めており、有資格者もその資格をいかせない状況のため、他の仕事に就くような状況です。地域だけではどうしようもない状況に追い込まれています。一度崩壊した地域医療は元に戻ることはないのを知りつつ、国政は何もせず高齢者、医療従事者が減っていくのを待っているとしか思えないこの頃です。

(川井田 望)

## 西臼杵郡医師会

令和6年10月、高千穂町国保病院裏から突如白煙がもうもうと吹き出し一時騒然となりました。「クエンチ」といいまして、MRI機器が故障しヘリウムガスが噴き出す事象が起きたのです。MRIの使用年数が15年を超えており、故障したら補修もできないという話をしていた矢先でした。令和7年4月から新規購入したMRIが稼働し一安心したところです。それまでお世話になりました延岡医師会病院、あたご整形外科の先生方には紙面を借りまして深く感謝申し上げます。

(塩月 康弘)

## 宮崎大学医学部医師会

昨年度の大学病院の収支は厳しいものでした。病床稼働率がコロナ禍前に戻っていないことが挙げられますが、実際には在院日数が短縮しており、ある意味仕方がないところです。その穴を埋める新入院がない理由は、以前から指摘されている「外科系診療科における手術枠不足」です。そこで、コロナ病棟として使用していた1東病棟を返上し、3階の血液浄化療法部を移転させ、手術室を2室増設する計画を立てました。この4月から本格工事を開始し、令和8年10月に手術室の増室が完了する予定です。

(賀本 敏行)

## 国公立病院だより

### えびの市立病院



かわち けんすけ  
河内 謙介 院長

#### えびの市概況

えびの市は昭和41年に真幸、加久藤、飯野の三町が合併しえびの町となり45年に市制施行によりえびの市となりました。

宮崎県の最西方、宮崎県、鹿児島県、熊本県の3県

をまたがる県境に位置し、本市を中心に九州縦貫自動車道、宮崎自動車道がえびのインターから宮崎、鹿児島、熊本の三方に延びています。コストコにも近いです。

えびの高原をはじめ、京町温泉、白鳥温泉、天然屋外アイススケート場、コカコーラ工場に併設されたグリーンパークえびの、西諸牛とえびの米…。他の地域と同様、ご多聞にもれず風光明媚というか、派手ではありませんが食と観光スポットには事欠きません。

…とは言ってもやはり人口減少に歯止めがきかず赴任当時の平成10年は2万人をゆうに超えていましたが昨年は1万7,000人を割り込みました。高齢化率も同様に35%ほどでしたが、前回本誌の国公立病院だよりを書いた5年前に40%を越え本年度は45%を越えました。

#### えびの市立病院概要

当病院は昭和26年に飯野町国民保険直営診療所として創設され昭和45年の市制施行にともないえびの市立病院と名称を変更、昭和53年に母屋建物が竣工し、平成6年にリハビリ棟増築が行われ現在の形になり、えびの市および周辺の地域医療の中心的役割を担ってきました。

急性期一般病床50床でスタートしましたが、令和元年に地域包括ケア病床を導入し、令和4年に全病床を急性期病床から回復期に変更しました。包括ケア病床は8床から段階的に増床し現在一般30床、包括ケア20床となっています。

私が平成10年に赴任してからすでに27年が過ぎこの間エレベーター、空調設備、トイレの改修工事とスプリンクラーの設置が、また台風や大雨の都度雨漏り水漏れが生じていたため屋上の防水および配管工事が行われました。築50年を前に至る所でガタがきております。

一方で西諸界隈の近隣の病院は次々と建て替えられ近代的な綺麗なものになっており、当院も上記のような状況なので建て替えの必要が目の前に迫ってきています。コロナ禍の補助金で経営が一時若干上向いたもののやはり赤字続きであり、今後の行く末を見ると病院規模、病床数、医師数、救急対応、感染対策…など不確定要素が多すぎてアウトラインさえ策定できないでいます。

そんな中、昨年4月からついに、というかようやく電子カルテさまが動き始めました。病院スタッフのほぼすべてが電カルさまを扱うのは初めてで、電カルさまのおかげで業務が効率化、簡略化されどんだけ仕事が楽になるのかとワクワクドキドキしていました。しかし、実情は電カルさまは気難しくていらっしゃり、以前は処方や指示をカルテにちょろちょろと書くだけで、また伝票をささっと書くだけで、あるいは先に口頭や電話で済んでいたものがいちいち電カルさまに入力しないといけなくなり、紹介状を書くにもサマリーを書くにもレセの注記を打ち込むのにもコピペがすんなり進まず、あっちいたりこっちいたり、それはそれは面倒になってしまい日々怒りをキーボードに叩きつけていました。

はたしてこれが使いやすいモノなのか、実際便利になっているのか非常に疑問に思っており

ましたが、一年経ってちょっと慣れてきてようやく、「やや便利になった」の方に針が振れてきました。ほんとはもっともっとたくさん裏ワザがあるようなのですが、まだそこまで行きついていないところです。

### 診療体制

診療科は平成14年のピーク時には内科3人、外科2人、整形外科2人の常勤7人体制でしたが、引き上げが相次ぎ内科1人、外科2人、整形外科1人の常勤3科4人となり、そしてとうとう外科の前院長が定年退職となって、これですべて3人体制かと覚悟した令和5年に、なぜか縁もゆかりもないのにえびのの地が好きだという理由でひょっこり北海道は中標津町から精神科専門医の先生が希望入職されました。整形外科、麻酔科の経験もあることから精神科を含めた内科、総合医として診療していただくことになり、結局マイナス1プラス1の常勤4人体制を維持することができました。

また、非常勤として月1回の泌尿器科、週1回の循環器の専門外来に加え、令和4年からの「ふるさと外来」と称してえびの出身の2名の先生に月1回ずつ来ていただき、また本年度から県立宮崎病院とフリーの内科の先生の応援が加わり、外来中心ですが医師の増員がありまし

た。当直もほぼ常勤4人でまわしていましたが、金土日をつリーの先生と鹿児島大学からの応援がありがたいお楽ができるようになりました。

それでも当然ながら当院の常勤医師の年齢層は年々上がり続け3人が60代、1人50代であります。また余談ではありますが、えびの市内の開業医の先生たちもここ数年で引退や体調不良、派遣医師の引き上げを理由に規模縮小、閉院が相次いでおります。医師確保についてはやはり決定打がなく、このままだと10年後20年後に生き残っている病院医院は2～3施設ということになってしまいそうです。

### えびの市、えびの市立病院の今後

1. 人口減少と高齢化への対応
2. 救急等医療提供体制の維持・強化
3. 経営の安定化
4. 地域連携の推進

これらの課題に対し当院と小林市立病院と高原病院の3公立病院はもとより、さらに民間病院とも連携を密にして西諸医療圏としていわゆる機能分化と役割分担を構築し、住民の皆さんの期待に応えるべく、医療の提供と持続可能な病院経営の実現を目指してなんとか生き延びていきたいと考えております。



## 宮崎大学医学部だより

## 血液・血管先端医療学講座

つるだ としひろ  
鶴田 敏博 教授

## 東九州メディカルバレーへの道標

2011年、東九州地域医療産業拠点構想（東九州メディカルバレー構想特区）が策定されました。東九州地域の特色である医療機器産業を活かし、地域活性化とアジアに貢献する医療産業拠点づくりを目標としたものです。私（宮崎医科大

学1992年卒）が2022年4月から担当しております血液・血管先端医療学講座は、4つの柱（図1）をアカデミアの立場で貢献するために宮崎県と延岡市の寄付で設置されました。旭化成メディカル(株)との共同研究成果を国内外に発信し<sup>1-3)</sup>、医工連携事業ではニーズ発表会、ものづくりフェスタ、企業展示会、ラウンドテーブルなどを企画し、医療者と県内企業の出会いの場を創出しました。これらを通して共同研究・製品開発へつながった事例があり、一定の成果を挙げていると思います。

一方で、3年間の活動で課題が見えてきました。本事業は産業基盤が異なる大分県と取り組んでいることを両県推進会議の年次活動報告で痛感します。宮崎県内で医療機器を製造・販売できる企業は限られ、県内中小企業が医療機器を上市することは難しいです。開発から出口戦略の導線が上手く引けないと、医療ニーズに沿わない試作品はお蔵入りし、中小企業は成功体

験を持たないという負のスパイラルに陥ってしまいます。

本事業は両県を跨ぎ多くの人々と目的が関わる構図で、両県担当部局とアカデミアは連携してこれからの東九州メディカルバレーへの道標を議論し、示す必要性があります。企業との研究開発はシーズを活用した将来の利益につながる提案が求められます。設立当初、県北の医師確保が課題であったため、当講座より県立延岡病院へ助教1名（現在、伊豆元心太郎：宮崎大学医学部2016年卒業）の配置が続いています。医工連携コーディネーターの元へ届く医療ニーズ数は限られるため、柔軟な発想を持つ若い世代の皆さんに協力を仰ぎましょう。大分大学や鳥取大学の取組みから、本学で医工連携事業を発展させるためには寄付講座に依らない病院内に広く認知された組織（専門職員の配置など）が必要でしょう。

本構想策定から13年経過しました。“構想”とは「考えを組み立てること。また、その考え」（広辞苑）です。“構想”を脱し、宮崎県が真の「メディカルバレーの町」と広く認知される日が来るよう、次のステップへ前進します。

## 参考文献

1. Yamamoto S, Umeno H, Sano Y, Koremoto M, Goda Y, Kaneko Y, Torisu S, Tsuruda T, Fujimoto S. A chronic intermittent haemodialysis pig model for functional evaluation of dialysis membranes. *Int J Artif Organs*. 2024; 47(5) 321-328. doi: 10.1177/03913988241253152.
2. 佐野裕介, 梅野 寛, 加藤佳久, 山本集士, 五田嘉倫, 藤元昭一, 鶴田敏博. ビタミンE固定化血液透析濾過器（ヴェエラV-RA）による両腎摘出ブタを用いた貧血抑制作用の検討. 腎と透析97巻別冊74-76, 2024.
3. Fujimoto S, Koremoto M, Yamamoto S, Umeno H, Sano Y, Tsuruda T. Impact of vitamin E-coated membrane hemodiafilter on serum albumin redox state in the acute kidney injury pig hemodialysis model. *Artif Organs*. 2025 doi:10.1111/aor.14982.

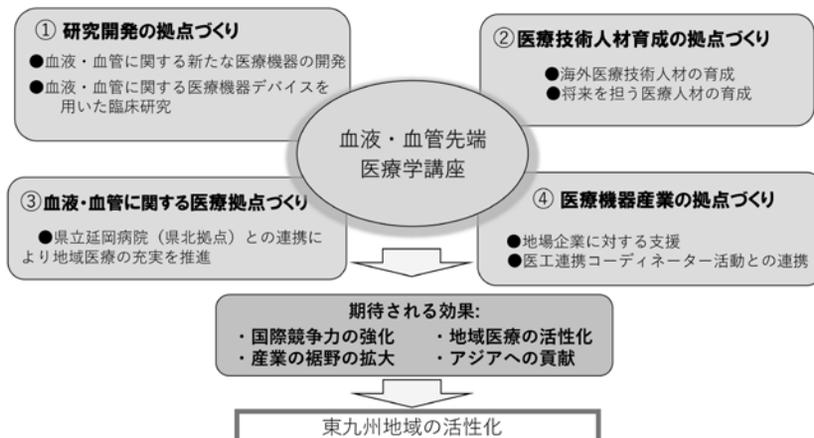


図1 血液・血管先端医療学講座の活動

## 部会だより

## 労 災 部 会

さとう のおひろ  
佐藤 信博 部会長

宮崎県医師会労災部会は、昭和39年5月に設立されて以来、会員相互の親睦を深め、労災診療内容の向上と労働者の福祉、労災補償の発展に寄与することを目的に事業活動を行っています。会員は、労働者災害補償

保険法に基づく労災指定医療機関の代表をもって、現在389の医療機関で構成されています。

労災保険診療は公的医療保険に準じての治療のみではなく、傷病労働者の早期社会復帰を目的とした傷病期間の補償、症状固定・後遺障害の補償、障害年金等診療など、身障者介護分野までさまざまな診断や認定などに関して、多くの分野での専門医のお力を必要としております。県医師会員の先生方には、日頃からのご協力に対しまして、この場をお借りして衷心より感謝申し上げます。

次に労災部会について、現況を紹介します。

## 1 労災部会の構成

- 1) 理事会  
(部会長以下7名、監事2名、顧問3名)
- 2) 宮崎労災保険診療費審査委員会  
(委員長以下10名)
- 3) 宮崎県医師会労災部会自賠委員会  
(委員長以下9名)

## 2 令和7年度事業計画(案)

- 1) 定期総会
- 2) 補習教育(研修会等)の開催
  - ①医学会(県外科医会並びに県整形外科医会との合同学会)の開催
  - ②労災診療費算定実務研修会の開催

- ③労災関係保険審査委員会会議への参加
- 3) 労災診療指導委員会の開催  
(毎月1回 年12回)
- 4) 理事会の開催(毎月1回 年12回)
- 5) 労災指定医療機関の指導・調査
- 6) 交通事故問題の検討
  - ①自賠委員会の開催
  - ②損害保険医療協議会の開催
  - ③損害保険医療協議会小委員会  
(適時必要に応じて開催)
  - ④自賠責保険研修会(医療機関実務担当者向け)の開催

今年度の定期総会は7月12日(土)に県医師会館で開催いたします。合同学会では、宮崎大学医学部感覚運動医学講座整形外科学分野 教授 亀井直輔先生に「脊髄損傷の診断と治療」と題してご講演をお願いしておりますので、先生方のご参加をよろしくお願いいたします。

また、労災診療費算定実務研修会には、毎会多くの医療請求事務職員の方々が受講され、労災診療費の請求漏れをなくし、適正な請求方法についてご理解いただいております。

当部会自賠委員会では、会員医療機関と患者さん、損保会社との交通事故診療における問題解決にも引き続き取り組みますので、トラブル事案が生じたときには、労災部会事務局へFAXなどでご連絡をお願いいたします。

最後に、労災指定医療機関で当部会へ未加入の医療機関におかれましては、ご入会についてお願い申し上げます。会員先生方と労災保険診療・交通事故診療に関する諸問題への迅速な解決を図ってまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

## 令和7年度都道府県医師会広報担当理事連絡協議会

と き 令和7年4月17日(休)

ところ 日本医師会館 (Web会議)

黒瀬常任理事(日医)の司会進行により開会。松本会長(日医)、阪本広報委員会委員長の挨拶に続き、議事に入った。

### 1 挨拶(要旨)

日本医師会長 松本 吉郎

日医では組織強化を最重要課題の一つとして掲げている。日医の施策実現のためにも、広報は重要な事業の一つである。時代の変化とともに広報の手段も変わりつつある中で、SNSを使った広報に取り組み始めている。YouTubeチャンネルの登録者数は1万2,000人、LINEの友だち登録者数は4万人を超えるなど、少しずつではあるが効果が見えてきている。

本日は黒瀬常任理事(日医)から日医の直近の広報活動についてご説明する他、SNSを駆使した広報を実践している2つの医師会からも活動報告をいただくこととなっている。ぜひご参考いただきたい。

日本医師会広報委員会委員長  
大阪府医師会副会長

阪本 栄

日医の広報については、国民に正しく医療制度や医師会活動を理解していただくことや、組織強化につなげていくといった大きなミッションがある。担当の黒瀬常任理事(日医)のもと日医の広報活動をより一層活性化していきたい。

### 2 議事

#### 1) 報告「日本医師会の広報活動と今後の方向性について」

日本医師会常任理事 黒瀬 巖

日医では広報活動として、昨年の世界禁煙デー(5月31日)において、東京タワーをイエローグリーンにライトアップするイベントを実施した。目に見える活動が非常に重要であり、今年は禁煙の重要性やたばこの害をテーマとした川柳コンテストも実施予定である。また、日医初代会長である



北里柴三郎先生が新千円札の肖像となったことを記念してシンポジウムを開催した。日医の歴史や日医の存在意義を知っていただくことも大切な広報活動であると理解している。その他にも子宮頸がん予防ワクチン接種を呼びかける動画を公式YouTubeにアップしたり、キッザニア東京に期間限定で「診療所」パビリオンを出展するなどさまざまな活動を実施してきた。

近日中に実施予定の広報企画として、待合室で利用可能なゲーム(日医君のわくわくミニゲーム!)を希望する会員医療機関に無料提供することを考えている。また、医師会をより身近に感じていただけるよう、日医君の3Dアバターを活用したショート動画を作成予定である。

SNSを活用した広報戦略として、現在日医ではLINEとYouTubeを活用している。LINEは30~50代の女性が過半数を占める構成となっており、アクセス率やメッセージ開封率などを分析し、適切な人に適切な配信ができるようになった結果ブロック率が低下した。YouTubeでは、記者会見動画・各種シンポジウム動画・赤ひげ大賞関連動画を掲載しているが、コンテンツによって視聴回数に大きな差が出ている。コンテンツの拡充も図りながら、どうすればアクセスしていただけるか今後検討していく必要がある。

今後の情報提供のあり方として、情報提供の対象に合わせて内容の選別と表現の工夫をすることが大切である。また、誤解を招かないためにも丁寧な説明が不可欠である。一つひとつの企画を丁寧かつ的確に行いながら会員や国民の皆様方のご理解を得ていきたい。

## 2) 報告「SNSの活用に関するアンケート結果について」

日本医師会広報委員会委員長  
大阪府医師会副会長

阪本 栄

都道府県医師会におけるSNSの活用状況調査の結果について報告させていただく。

3月14日～31日の期間で、都道府県医師会広報担当理事向けにWeb形式で実施し、すべての医師会の皆様にご回答いただいた。

SNSを広報活動に活用している医師会は約4割で、ツールとしてはLINEが最も多く、次いでYouTubeであった。情報伝達の速さがメリットとして挙げられる一方で、配信内容の選定やコンテンツ作成、新規登録者の獲得に苦労していることが分かった。

SNSの広報利用を検討している医師会についてもLINE、YouTubeの順で多い結果となったが、初期費用や発信する情報の種類、頻度などで不安を抱えていた。

SNSを活用していない医師会については、人材不足や情報管理の難しさを挙げる医師会が多く、新聞やテレビ、ホームページで事足りており必要性を感じないという医師会もあった。

相談先やモデルケースの乏しさから一歩踏み出せない医師会も多いため、日医にはSNSを活用した好事例を収集いただき、その横展開を図ってもらいたい。また、SNSを始める際に相談可能な業者を紹介してもらえたらと思う。

## 3) 都道府県医師会のSNSを活用した取り組み発表

### (1) 京都府医師会「研修医・若手医師との『つながり』」

日本医師会広報委員・京都府医師会理事  
田村 耕一

京都府医師会ではLINEによる情報発信(以下、KMA.com)を令和5年4月から組織強化の新たな取り組みとしてスタートしている。KMA.comは研修医・若手医師を

ターゲットに会員・非会員問わず、“つながり”をキーワードに定期的な情報発信を通じて医師会活動への理解を図り、将来的な入会につなげることを目的としている。

KMA.comへの登録はスマホ一つあれば完結する仕組みとなっており、勤務医・研修医・医学部医学科生なら誰でも登録可能である。専用Webサイトへのアクセスや研修会などの情報をメール・LINEでいち早く受け取れることがメリットである。

KMA.comは医師会入会のきっかけとなる一つのツールであり、最終的なゴールは組織力強化である。KMA.comから医師会入会へつなげるためにはまず、アクセスしてもらえる仕組み作りや視覚的にコンテンツの魅力を伝えることが大切だと考える。また、動画を活用して医師会入会のメリットを積極的に発信し、地道に入会を呼びかけていく必要がある。

### (2) 沖縄県医師会「沖縄県の小児救急適正受診の一助～LINE×AIチャットボットを活用した#8000LINEアカウントの開設～」

沖縄県医師会理事 當間 隆也

沖縄県では小児の慢性的な救急現場のひっ迫を受けて、#8000(小児救急電話相談事業)のLINE公式アカウントを制作することとなった。

#8000のLINE公式アカウントには大きく4つの機能がある。①「気になる症状(症状に応じて救急度の判定をする機能でLINEチャットボットが実装されている)」、②「#8000に電話をかける」、③「子ども救急ハンドブックの閲覧」、④「県内小児救急医療機関の閲覧」である。

LINEの標準機能であるメッセージ送信機能も利用できるため、イベント情報や救急ひっ迫状況のアナウンスなどにも活用できればと考えている。今後も有益なコンテンツの拡充を図り、県民の身近なツールになるよう努めていきたい。

出席者－荒木常任理事、弓削主事

Web (Zoom)－田畑理事、久永次長

## お知らせ

認定産業医の皆様  
認定健康スポーツ医の皆様

医師会員・非会員  
共通

## MAMIS稼働にあたっての留意点

### ①今後MAMIS※で実施いただく作業

以下の作業は**今後MAMISが必須**となります。そのため、**MAMISへの初回登録※2を完了**させてください。

1. 4月1日以降に受講した研修会で取得した単位確認
2. 有効期間・登録情報の確認
3. 登録情報の変更
4. 新規・更新申請手続き（現時点では、MAMISから申請は出来ません。MAMISを利用した申請手続きは機能が実装され次第、ご案内します。）

※1:医師会会員情報システム

※2: MAMISへの登録によって医師会会員になるものではありません。

<https://mamis.med.or.jp/login>

マイページへのログインはこちら



### マイページの初回ログイン方法概要

#### <MAMISログイン画面>

ログイン

ログインID  
ログインIDを入力してください

パスワード  パスワードを表示  
パスワードを入力してください

ログインする

ログインIDをお忘れの方はこちら →  
パスワードをお忘れの方はこちら →

システム管理者からのお知らせ

2025.5.9 システム停止のお知らせ  
MAMISへのプログラム更新作業のため、以下の期間システムを停止します。  
停止期間：2025年5月9日 20時00分～2025年5月9日 23時30分

2025.5.7 システム停止のお知らせ  
MAMISへのプログラム更新作業のため、以下の期間システムを停止します。  
停止期間：2025年5月7日 20時00分～2025年5月7日 23時30分

2025.5.1 システム停止のお知らせ

システムを正常に起動しただけでは、他のサイトでもID/パスワードや、パスワードを再入力しお尋ねください。  
・パスワードはログイン後「ログイン情報」にて変更いただけます。  
・本システムは Microsoft Edge, Google Chrome での利用を推奨しています。他のブラウザで試す場合は、動作しない可能性があります。予めご了承ください。

未登録の方はこちら  
利用者登録

ログインを行ったことがない方は、ハガキでご案内したログインID、PWを赤枠部分にご入力ください。  
(ハガキが見当たらない方は下記の問い合わせフォームにご連絡ください。)

ログイン方法詳細(動画)



その他MAMISの手続きに関する問合せは、問い合わせフォームまたは運営事務局にて承ります

<https://mamis.med.or.jp/contact/>

運営事務局：0120-110-030  
(平日10:00～18:00)



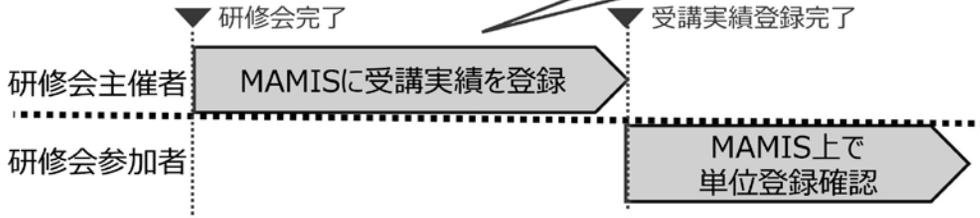
認定産業医の皆様  
認定健康スポーツ医の皆様

医師会員・非会員  
共通

### ② 研修会受講実績の確認スケジュール

取得した単位は、**研修会後1か月以内を目安**にMAMIS上に登録されます。**詳しくは研修会主催者**にお問い合わせください。

<研修会開催から単位確認までの流れ>



### ③ 2025年7月以降の更新申請方法

更新申請をする際、**1.単位証明、2.登録情報等(お手元に届いた書類)**を、**3. 郡市区医師会もしくは都道府県医師会に紙で提出**してください。

#### 1. 単位証明の準備

① 2025年3月31日以前に受講した研修会の単位



or



(認定産業医の場合)  
単位シールが確認できる手帳

(認定スポーツ医の場合)  
修了証



② 2025年4月1日以降に受講した研修会の単位 (MAMIS)



MAMISでの単位取得確認を表示した後、**印刷する。**

#### 2. 登録情報等の確認

内容を確認し、必要があれば**最新情報に修正・記入**する。



登録情報等：登録情報(1枚もの)

#### 3. 更新申請

1. 単位証明と2. 登録情報の準備ができ次第、郡市区医師会か、都道府県医師会に**紙で提出**する。



紙で送付



都道府県医師会

※：MAMISを利用した申請手続きは機能が実装され次第、ご案内します。

## 日医インターネットニュースから

### ■医療法「病床再編」「医療DX」で修正へ — 自公維、年内成立目指す —

自民党、公明党、日本維新の会の3党による社会保障改革の協議が5月29日にあり、▽病床再編▽医療DX推進▽医療法改正案への対応—などをテーマとした合意文書の内容を大筋でまとめた。各党で持ち帰り、了承を得れば正式に合意する見通し。医療法については、病床再編、医療DX推進の合意内容を踏まえて修正し、年内の成立を目指す方針だ。

今国会に厚生労働省が提出した医療法は、4月3日に衆院本会議で審議入りした。与党は、続いて衆院厚生労働委員会で審議に入りたい構えだったが、野党は2本の議員立法も並行して審議すべきだと主張。これに与党が難色を示し、医療法の審議は後回しになったままだ。6月22日までの会期を考えると、今国会での医療法の成立は難しい状況になっている。

野党が並行審議を求めている議員立法は、介護・障害福祉従事者の賃金を増やす法案（処遇改善法、立憲民主党・維新・国民民主党が提出）と、訪問介護事業者に緊急支援金を出す法案（立民・国民が提出）。特に前者は、衆院厚生労働委で採決した場合、自公が反対しても可決する可能性が高い。

こうした背景を踏まえ、自公維は合意文書で、介護・障害福祉の処遇改善の重要性を確認する。その上で、処遇改善法ではなく、報酬改定や予算措置で賃上げを図る方向性を示す。

#### ●電カル普及率100%「5年以内」目指す

合意文書では病床再編に向けて、今後の人口減少も視野に、病床の削減に言及する。「約11万床」（一般・療養病床約5万6000床、精神病床約5万3000床）について、地域の実情を踏まえた調査をした上で、新たな地域医療構想が始まる2027年度までに削減を図る。その旨を「骨太の方針2025」に記す。感染症に対応する病床の確保などには配慮する。

維新は、約11万床の削減で約1兆円の医療費

削減効果があると試算しており、合意文書でも触れる。一定規模の入院医療費の削減効果が見込まれることは、自公維で認める。

医療DXについては、電子カルテの普及率が50%程度にとどまっていると指摘。100%達成に向けて、5年以内の実質的な実現を目指す。

#### ●「OTC類似薬」の文書案、維新は不満

29日の協議で、与党の自公は、骨太2025を視野に入れた別の文書案も示した。▽OTC類似薬▽地域フォーミュラリ▽応能負担▽重症化予防—に関するものだ。

維新は、OTC類似薬の書きぶりなどに不満を示している。今後、自公維で合意できるかは不透明だ。

（令和7年6月3日）

### ■NHKに要請、「医療の正しい情報」報道を — 日医・黒瀬常任理事 —

日医の黒瀬巖常任理事は6月4日、メディアファクスに対し、NHKが今月1日に放送したNHKスペシャル「ドキュメント 医療限界社会 追いつめられた病院で」で不適切と思われる部分があったとして、医療の正しい情報を報道するよう求める要請文書を送付したことを明らかにした。黒瀬氏は「医療現場の課題など、地域住民の方々に少しでも役立つ情報として、私たちが伝えられることがある」と述べ、正しい情報の発信に向けて協力したいとの考えを示した。

要請文書は、広報を担当する黒瀬氏の名前で3日にNHKに送付した。番組が、特定の病院への取材や視聴者などの声を基にした構成となっていたと指摘した上で、「個別の事例により、国民に誤った印象を与えることがないように注意すべき」と主張。「診療看護師」が医師の処置などに対する自身の見解を述べた場面に言及し、「こうした場面を公共放送で紹介することにより、全国の医師に対する国民・患者の信用やチーム医療の推進が損なわれないか、強い懸念を感じざるを得ない」との認識を示した。

（令和7年6月6日）

## ■方向性に理解も「地域医療に配慮を」

### — 日医・松本会長，3党の合意受け —

日医の松本吉郎会長と城守国斗常任理事は6月6日、自民党、公明党、日本維新の会の3党における社会保障改革の実務者間での合意を受け、メディアファクスの取材に応じた。方向性に一定の理解を示しつつも、地域医療が守られるよう十分な配慮を求めた。

同日の3党協議では実務者間で、▽病床再編の拡大▽医療DXの加速化 — について合意した。病床再編の拡大では、今後不要になると推定される病床約11万床について、地域の実情を踏まえた調査をした上で、新たな地域医療構想が始まる2027年度までに削減を図ることを合意文書に明記。医療DXの加速化では、電子カルテの普及率を現時点で約50%とし、5年以内に約100%の実質的な実現を目指すことなどを盛り込んだ。

#### ●病床再編拡大「地域の意見を聞いて」

病床再編の拡大について、松本会長は24年度補正予算の病床数適正化支援事業で5万床を超える申請があったことを踏まえ、「そうしたニーズに応えるもの」との認識を表明。「具体的には、実情調査も行って各地域における医療ニーズを踏まえた上で、病床数の適正化に当たって必要な支援が行われると思う」との受け止めを示し、「地域の意見を丁寧に聞きながら進めていきたい」と訴えた。

また、病床数適正化支援事業では「4万数千床が対象外となっている」とした上で、それらを優先的に支援の対象とするよう求めた。

城守氏は、「病床の削減ありきではなく、感染症パンデミックなどの有事対応として病床と共に人員の確保を含め、地域で必要な入院医療

がなくならないよう勘案することも必要だ」と強調した。

#### ●電子カルテ義務化「地域医療崩壊に」

一方、医療DXの加速化について、松本会長は「患者に安心・安全で、より質の高い医療を提供し、医療現場の負担軽減に資するべく、日医としても推進に協力してきた」と一定の理解を示した。

ただ、紙カルテを利用している診療所の5割強が「高額な費用が負担できないなどの理由から、電子カルテの導入が不可能」とする日医の調査結果を提示。「こうした医療機関に電子カルテを強要することは、地域医療に取り組む医師に医療からの撤退を促すもの」と指摘し、地域医療の崩壊につながる電子カルテ導入の義務化には反対の意を改めて示した。

番組が、「医師偏在」「医療機関経営」といった日本の医療にとって極めて大きなテーマを取り上げたとした上で、日医の意見が聞かれなかったことについても遺憾の意を示した。

#### ●「国民・患者が不安を抱く」

黒瀬氏は、「(番組を見た)何人かの会員から、私たちの下に懸念の声が届いている」と説明。「国民・患者が不安を抱くことを心配する声だ」とした。「日医は、会員の過半数が勤務医であり、医療機関全体を代表する組織」と述べ、「医療の正しい情報と、さまざまな考え方に基づく選択肢を国民に提示することができる組織として、正しい医療の現状を発信するために協力したい」と訴えた。まずは、最大の要因である費用負担の軽減に向け、導入・維持費用の低減と十分な補助の実現を訴えた。

(令和7年6月10日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) >メンバーズ>日医インターネットニュース

#### メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID (日医刊行物送付番号) の10桁の数字 (半角)

◆パスワード：生年月日の「西暦の下2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字 (半角)

## 医師協同組合だより

### 《休診共済のご案内》 ～医師の休業を補償します～

入院・自宅療養を問わず  
通算 **800日** 迄  
補償します

満 **89歳** 迄  
新規加入OK!

医師の **診査** 不要!

### 【特長】

- 医師が医師のために作りあげた保険ですので **保険料が割安** になっております。
- 疾病や災害による就業不能時の休業損害を通算最高 **800日** まで補償します。
- お申込みにあたり、医師の診査は不要です。簡単な告知のみでご加入いただけます。
- 保険金は他の保険に加入と関係なく、支払われます。
- 満 **18歳** から満 **89歳** までの方が新規加入いただけます。
- 加入後は **1年** ごとの自動更新です。  
※面倒な更新手続きは不要です。更新時の健康状態にかかわらず更新します。

### 【補償内容】(こんなときに保険金をお支払いします)

病気	発病した疾病の治療を目的として、保険期間中に日本国内の病院、診療所に入院または自宅療養した事を直接の原因として5日以上継続して就業不能状態に陥った場合。 【疾病休業保険金】休業 <b>5日目</b> より加入口数に応じて給付。
災害	不慮の事故を直接の原因とする傷害の治療を目的として、保険期間中に日本国内の病院、診療所に入院または自宅療養した事を直接の原因として就業不能状態に陥った場合。 【災害休業保険】休業 <b>1日目</b> より加入口数に応じて給付。

- 入院, 自宅療養を問わず, また病気, 傷害を問わず幅広く補償します。
- 通算最高 800 日まで補償します。(一疾病, 一傷害は, 180 日を限度)
- 保険金の受取人は被保険者自身となります。

## 【保険金額と加入口数】

契約日または更新日の年齢	1 口	2 口	3 口
満 65 歳未満	日額 7,000 円	日額 14,000 円	日額 21,000 円
満 65 歳以上	日額 5,000 円	日額 10,000 円	日額 15,000 円

※保険料例 (月払) ……40 歳 1 口 1,600 円 , 2 口 3,200 円 , 3 口 4,800 円

男女共通です

……45 歳 1 口 1,800 円 , 2 口 3,600 円 , 3 口 5,400 円

……50 歳 1 口 2,000 円 , 2 口 4,000 円 , 3 口 6,000 円

## 【年齢と加入口数の限度】

契約日または更新日の年齢	加入できる口数
満 18 歳から満 24 歳	1 口限度
満 25 歳から満 79 歳	3 口限度
満 80 歳から満 84 歳	2 口限度
満 85 歳から満 89 歳	1 口限度

## 【お問い合わせ先】

**宮崎県医師協同組合**

TEL : 0985-23-9100

FAX : 0985-23-9179

## 6月のベストセラー（宮崎県）

集計：2025年6月1日～6月23日

1 薬屋のひとりごと 16	日 向 夏	ヒーロー文庫
2 国宝（上・下）	吉 田 修 一	朝日文庫
3 私が見た未来 完全版	たつき 諒	飛鳥新社
4 本当の自由を手に入れるお金の大学	両@リベ大学長	朝日新聞出版
5 カフネ	阿 部 暁 子	講談社
6 5年で1億貯める株式投資	K e n m o	ダイヤモンド社
7 関ヶ原仁義（中）	井 原 忠 政	双葉社文庫
8 やりたいことは全部やりなさい	森 永 卓 郎	SBクリエイティブ
9 人は話し方が9割	永 松 茂 久	すばる舎
10 じい散歩	藤 野 千 夜	双葉文庫

## 社会保険診療報酬請求書審査委員会委員名簿（医科）

（任期 令和7年6月1日～令和9年5月31日）

（○印は新任）

科 名	氏 名	科 名	氏 名
内 科	石 川 正	外 科	岩 村 威 志
”	稲 津 東 彦	”	下 藺 孝 司
”（放射線）	杜 若 陽 祐	”	白 尾 一 定
”	澤 野 文 俊	”	○ 武 野 慎 祐
”	塩 見 一 剛	”	坪 内 斉 志
”（東 洋）	玉 置 昇	”	北 條 浩
”	中 尾 紘 一	”	横 上 聖 貴
”	永 田 賢 治	”	○ 吉 見 雅 博
”	中津留 邦 展	整形外科	黒 木 修 司
”	名 越 敏 郎	”	福 嶋 秀 一 郎
”	○ 夏 田 朱 一 郎	”	松 本 宏 一
”	比 嘉 利 信	皮 膚 科	天 野 正 宏
”	村 田 光 宏	”	黒 川 基 樹
”	森 山 英 士	泌 尿 器 科	月 野 浩 昌
”	山 口 哲 朗	”	福 田 聡 一 郎
”	山 口 秀 樹	産 婦 人 科	嶋 本 富 博
”	山 下 清	”	下 村 直 也
”	山 中 篤 志	”	肥 後 貴 史
精 神 科	井 上 雅 文	眼 科	川 原 亮 輝
”	堀 徹 也	”	森 山 重 人
小 児 科	○ 大 山 龍 介	耳 鼻 咽 喉 科	外 山 勝 浩
”	此 元 隆 雄	”	松 田 圭 二

五十音順

# 理事会日誌

## 令和7年5月13日(火) 第3回全理事協議会

### 医師会関係 (議決事項)

#### 1. 令和7年度産科医療功労者厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

多年にわたり地域のお産を支え、産科医療の推進に貢献してきた産科医・団体等に対する表彰で、1名を推薦することが承認された。

#### 2. 令和7年度救急医療功労者厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

多年にわたり地域の救急医療の確保、救急医療対策の推進に貢献してきた医師等に対する表彰で、1名を推薦することが承認された。

#### 3. 令和7年度学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰及び県教育長表彰被表彰候補者の推薦について

学校保健等の普及と充実に功績があった方を対象に行われる表彰で、各郡市医師会から推薦された中から、文部科学大臣表彰2名と県教育長表彰13名を推薦することが承認された。

#### 4. 本会外の役員等の推薦について

##### ①県健康づくり推進協議会委員の推薦について

→県民の健康づくりを計画的、効果的に推進するための基本方針や施策を検討するために設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き金丸副会長を推薦することが承認された。

##### ②県立病院事業評価委員会委員への就任について

→県立病院の事業経営計画の進捗状況等

について評価提言を行う委員会委員の任期満了に伴う就任依頼で、引き続き河野会長が委員に就任することが承認された。

#### 5. 業務委託について

##### ①令和7年度風しん抗体検査事業の委託契約について

→県民（宮崎市民を除く）で妊娠を希望する女性とそのパートナーを対象に抗体検査を実施する事業で、委託契約を締結することが承認された。

##### ②令和7年度症例研究会開催事業の委託契約について

→小児科専門研修医の資質向上と小児医療の充実を図ることを目的に、県内の小児医療機関と大学が共同で症例研究会等を実施する事業で、委託契約を締結することが承認された。

##### ③令和7年度生きる力を育む健康教育推進事業「専門医による性に関する相談事業」の委託契約について

→10代の人工妊娠中絶、性感染症、性の逸脱行動等、性に関する諸問題の解決を目的に、専門医が児童生徒、教職員及び保護者等を対象に行う相談事業で、契約を締結することが承認された。

##### ④令和7年度災害時リハビリテーション機能強化事業の委託契約について

→JMATやJRAT（災害リハビリテーション支援チーム）に対し、多職種連携の推進や災害時対応手法に関する研修会を開催する事業で、契約を締結することが承認された。

#### 6. 後援・共催名義等使用許可について

##### ①令和7年度地域貢献等研究推進事業「看護師に向けた性的マイノリティへの受療行動支援事業」における県民公開講座への名義後援について

→県内の看護師の性的マイノリティに関する基礎知識の向上および、当事者の受療行動等の思いや配慮の必要性について知る機会とすることを目的とした県民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

#### 7. 5/27(火) (県医) 各郡市医師会長協議会の提案事項に対する対応について

延岡市医師会からの提案事項①については大塚常任理事、②については赤須常任理事、③については嶋本常任理事、西諸医師

会からの提案事項④については金丸副会長、⑤については落合常任理事が回答することが承認された。

8. 6/21(土)・22(日) (東京)九州ブロック日医代議員協議会並びに同懇親会の開催について

6月22日(日)の日医定例代議員会の前日に開催される懇親会と、当日の朝に開催される連絡協議会で、日医代議員の河野会長、小牧・金丸副会長、市来常任理事の4名が出席することが承認された。

9. 7/16(水) (宮崎大学医学部) 講義「地域社会と医療」への講師派遣について

宮崎大学医学部医学科1年生地域枠の学生に対する「医療と地域貢献活動」についての講義で、大塚常任理事を派遣することが承認された。

10. 第32回日本医学会総会登録推進委員のご推薦のお願いについて

2027年4月に開催される第32回日本医学会総会の登録推進委員に嶋本常任理事を推薦することが承認された。

11. 8/30(土)・31(日) (群馬) 第32回全国医師会共同利用施設総会の開催協力について

群馬県医師会の担当で開催される第32回全国医師会共同利用施設総会において、次期担当県医師会長挨拶を行うため、河野会長が出席することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 4月末日現在の会員数について
3. 5/11(日)全国有床診療所協議会理事会について
4. 5/8(木) (県医) 日医財務委員会について
5. 4/23(水) (県医) 女性医師等保育支援サービスシステム事業打合せ会について
6. 5/7(水) (県医) 鹿児島県医師会との倫理審査に関する打合せについて
7. 5/12(月) (県医) 広報委員会について
8. 4/26(土) (シーガイア) 県臨床研修医説明会・講演会/新研修医祝賀会について
9. 4/24(木) (日医) 日医医業経営検討委員会について
10. 4/25(金) (県医) 病院部会・医療法人部会合同理事会について
11. 5/12(月) (県医) 産業医部会理事会について
12. 4/24(木) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
13. 5/9(金) (県医) 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会について

14. 5/8(木) (県防災庁舎) 県保健医療福祉調整本部会議について

15. 5/12(月) (県医) 広域災害救急医療情報システム (EMIS) にかかる事務局説明会について

16. 4/30(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会・労災部会理事会について

医師連盟関係  
(議決事項)

1. 5/24(土) (宮崎市民プラザ) 総務会並びに県連大会のご案内について

総務会は欠席とし、県連大会に河野委員長が出席することが承認された。

令和7年5月27日(火) 第4回全理事協議会

医師会関係  
(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県健康づくり協会理事及び評議員の推薦について

→疾病予防、健康の保持・増進に寄与することを目的に設立された協会の理事及び評議員の任期満了に伴う推薦依頼で、引き続き、理事に金丸副会長、評議員に玉置常任理事を推薦することが承認された。

②県後期高齢者医療広域連合運営懇話会委員の推薦について

→後期高齢者医療制度の適切かつ円滑な運営を目的に設置される懇話会委員の任期満了に伴う推薦依頼で、引き続き吉見常任理事を推薦することが承認された。

③県蚊媒介感染症対策会議委員の推薦について

→本県の蚊媒介感染症対策の検討や実施した対策の有効性を評価するための会議で、委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き峰松理事を推薦することが承認された。

④県地域医療対策協議会・幹事会委員の推薦及び就任について

→医師確保の推進や関係機関との連携を通じて県内の地域医療提供体制の整備充実を図ることを目的に設置される協議会で、委員の任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き、協議会に河野会長、大塚常任理事、上山理事を、幹事

会に大塚常任理事を推薦することが承認された。

⑤県訪問看護推進協議会の委員の推薦について

→訪問看護事業の円滑かつ効果的な推進を図るために設置される協議会委員の、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き池井常任理事を推薦することが承認された。

⑥全国医師会医療秘書学院連絡協議会常任委員及び運営委員の推薦について

→日医認定医療秘書を養成する都道府県医師会で構成される協議会の令和7年度の委員の推薦依頼があり、引き続き、常任委員に金丸副会長、運営委員に池井常任理事を推薦することが承認された。

## 2. 業務委託について

①令和7年度医療勤務環境改善支援センター事業に関する業務の委託契約について

→勤務環境の改善に計画的に取り組む医療機関に対して、総合的な支援体制を構築することを目的とする事業で、委託契約を締結することが承認された。

②令和7年度妊娠等について悩まれている方のための相談援助業務の委託契約について

→児童虐待を未然に防ぐ目的で、その主な原因とされている予期しない妊娠に対応する相談窓口の設置や関係職種を対象にした研修会等を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

③令和7年度梅毒・HIV無料匿名検査事業の委託契約について

→本県において梅毒が増加し、HIVも一定数報告があることから、県が緊急対策として行う無料匿名の検査事業で、県と委託契約を締結することが承認された。

④令和7年度緩和ケア研修事業の委託契約について

→緩和医療に携わる医療従事者を対象に、緩和ケア全般にかかわる内容や地域連携、在宅緩和ケアの内容を取り入れた研修会を開催する事業で、委託契約を締結することが承認された。

## 3. 後援・共催名義等使用許可について

①8/30(土) (日南市) 令和7年度地域貢献等研究推進事業「子宮頸がんに関する健

康推進事業」における県民公開講座への名義後援について

→ワクチン接種とがん検診の推進・普及をし、子宮頸がん罹患率減少を図る目的の県民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

4. 刑事施設における矯正医療の継続等について  
宮崎刑務所の拘置支所化に際して、これまでと同様の矯正医療体制が維持されるよう、医務課の配置および常勤医師の配置を、宮崎刑務所長に対して要望することが承認された。

5. 7/26(土)・27(日) (佐賀) 第69回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに令和7年度九州学校検診協議会(年次大会)について  
河野会長、小牧副会長、高木常任理事の出席と九州学校検診協議会専門委員への出席依頼、各郡市医師会及び関係専門分科医会へ案内をすることが承認された。

6. 令和7年度都道府県災害医療コーディネーター研修受講者の推薦について

本研修を未受講の災害医療コーディネーター1名の推薦依頼であり、各郡市医師会に受講希望者を照会することと希望がない場合は本会役員が受講をすることが承認された。

7. 6・7月の行事予定について  
(報告事項)

1. 週間報告について

2. 5/14(水) (支払基金) 支払基金審査運営協議会について

3. 5/15(木) (県防災庁舎) 県医療審議会及び県医療介護推進協議会について

4. 5/18(日) (東京) 全国有床診療所協議会理事会・臨時社員総会・有床診療所医師連盟執行委員会について

5. 5/20(火) (日医) 都道府県医師会長会議について

6. 5/21(水) (都城) 都城市郡医師会病院創立40周年記念並びに心臓・脳血管・透析センター完成祝賀会について

7. 5/22(木) 日医有床診療所委員会について

8. 5/20(火) (県警察本部) サイバーセキュリティ連携協定式について

9. 4/28(月) (県防災庁舎) 県メディカルコントロール協議会総会について

10. 5/23(金) (熊本) 九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議について

11. 5/19(月) (県医) 広報委員会について

12. 5/23(金) (県医) 県医監事監査について
13. 5/27(火) (九州厚生局宮崎事務所) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
14. 5/16(金) (日医) 医師会立看護師等養成所会議 (都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会) について
15. 5/19(月) (県医) 組織強化・将来構想委員会小委員会について
16. 5/22(木) (国保連合会) 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会について
17. 5/15(木) (県医) 在宅医療協議会役員会について
18. 5/17(土) (県医) 産業医部会総会・研修会について
19. 5/22(木) (県医) 県認知症疾患医療センター合同会議について
20. 5/26(月) (県医) 在宅医療研修会企画小委員会について
21. 5/16(金) (県医) 県警察医会協議会について
22. 5/17(土) (福島) 男女共同参画フォーラムについて
23. 5/23(金) (日医) 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会について

#### 医師連盟関係 (議決事項)

1. 令和8年度国・県に対する政策・予算等要望の受付について  
7月25日(金)に行われるヒアリングに向けて要望書を作成すること、ヒアリングに役員3名が出席することが承認された。
2. 6/2(月) (東京) 武見敬三参議院議員出版披露会の御案内について  
協力することが承認された。
3. 7/5(土) (福岡) 九州医連連絡会第36回常任執行委員会の開催について  
河野委員長が出席すること、協議事項があれば事務局へ申し出ることが承認された。

#### (報告事項)

1. 5/13(火) (県医) 県医師連盟総決起大会について
2. 5/14(水) (東京) 自民党議員連盟「国民医療を守る議員の会総会」について
3. 5/20(火) (日医) 日医連拡大選挙対策会議並びにかまやちさとし決起大会について
4. 5/20(火) (東京) 参議院議員自見はなこ政策セミナーについて
5. 5/24(土) (シーガイア) 河野しゅんじ県政報告会について

## お知らせ

# 令和7年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生採用のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を宮崎学園短期大学に委託しております。貴院におかれまして、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、宮崎学園短期大学よりご採用いただきますようご検討をお願いいたします。なお、採用に関するお問い合わせなどにつきましては、直接担当者までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

#### 令和8年3月末卒業予定者

【就職希望者】 10名 (男0人, 女10人)

【就職希望地】 宮崎市内7名, 都城1名,  
日向・延岡1名, 西都・高鍋1名

【連絡先】 〒889-1605

宮崎市清武町加納丙1415番地

TEL: 0985-85-0146

現代ビジネス科 教授 黒野 伸子  
キャリア教育センター センター長 河野 豪

# 県 医 の 動 き

(6月)

2	県糖尿病対策推進会議小幹事会(玉置常任理事)	19	日医広報委員会(Web会議)(荒木常任理事) 病院部会・医療法人部会定時総会(池井常任理事他)
3	県学校保健会理事・評議員会(会長他) 学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰及び県教育庁表彰審査会(会長) 第1回理事会(会長他) 第5回全理事協議会(会長他)	21	(北海道)日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 (Web会議)(玉置常任理事) (東京)九州ブロック日医代議員連絡会議(会長他)
4	日医公衆衛生委員会(Web会議)(峰松理事) 県アイバンク協会理事会(Web会議)(会長)	22	(北海道)日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 (Web会議)(玉置常任理事) (日医)九州ブロック日医代議員連絡会議(会長他) (日医)日医定例代議員会(会長他) 県産婦人科医会J-CIMELS講習会
5	日医医療秘書認定試験委員会(Web会議) (池井常任理事) 県循環器病対策推進協議会(玉置常任理事)	23	広報委員会(荒木常任理事他)
6	宮大医学部生対象マッチング登録説明会&県内 基幹型臨床研修病院合同説明会(大塚常任理事)	24	県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療 養費審査委員会(大塚常任理事) 医師協理事会(Web会議)(河野理事長他) 医師協理事・運営委員合同協議会(Web会議) (河野理事長他) 第6回全理事協議会(Web会議)(会長他)
7	(熊本)九医連常任委員会(会長) (熊本)九州ブロック日医代議員連絡会議(会長他)	25	保育サポート会員スキルアップ研修会・交流会 (荒木常任理事) 労災診療指導委員会・労災部会理事会 (赤須常任理事他) 県がん診療連携協議会(金丸副会長)
9	県健康づくり協会理事会(金丸副会長) 医療機関の安全に関する協定式(会長他) 日産婦学会専門医制度宮崎地方委員会(上山理事)	26	県健康づくり協会評議員会(玉置常任理事) 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (嶋本常任理事) 医師国保組合定例事務監査(秦理事長他)
10	第2回常任理事協議会(会長他)	28	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会 (吉見常任理事) 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総 会・全体研修会(吉見常任理事) 宮崎大学医学部精神科平野羊嗣教授就任祝賀会 (会長)
11	宮大医学部地域枠全体ミーティング(大塚常任理事) 広報委員会(荒木常任理事他)	29	(東京)レジナビ東京(大塚常任理事) 全国有床診療所協議会緊急臨時理事会・常任執 行委員会(会長)
12	県移植推進財団評議員会(会長) (千葉)全国国保組合協会通常総会 県産婦人科医会常任理事会(嶋本常任理事他)	30	県地域医療構想策定データ分析キックオフミー ティング(Web会議)(金丸副会長) 園医部会理事会(Web会議)(小牧副会長他) 組織強化・将来構想委員会小委員会(小牧副会長他)
14	県医師協同組合通常総代会(河野理事長他) 県医師連盟執行委員会(河野委員長他) 県医師会定例代議員会(会長他) 県医師会総会(会長他)		
15	全国有床診療所協議会理事会・常任執行委員会 (Web会議)(会長)		
17	日医連拡大選挙対策会議(Web会議)(河野委員長)		
18	宮大経営協議会(会長) (日向)日向市東臼杵郡医師会との意見交換会 (会長他)		

# ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和7年6月2日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み・お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

## 1. 求職者登録数 7人

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内 科	1	0	1
外 科	1	1	0
整形外科	1	1	0
放射線科	1	0	1
総合診療科	1	0	1
産婦人科	1	0	1
老 健	1	0	1

## 2. 斡旋成立件数 107人

	合計
令和7年度(4/1～6/2)	3
平成16年度から累計	107

## 3. 求人登録 109件 294人

(人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内 科	91	68	23	消化器外科	5	3	2
外 科	21	18	3	乳 腺 外 科	2	2	0
整形外科	18	15	3	健 診	3	3	0
精神科	14	12	2	泌尿器科	4	3	1
脳神経外科	2	2	0	産婦人科	0	0	0
循環器科	14	11	3	検 診	0	0	0
消化器内科	22	17	5	皮 膚 科	0	0	0
麻 酔 科	6	6	0	婦 人 科	0	0	0
眼 科	10	6	4	呼吸器外科	0	0	0
放射線科	9	9	0	人工透析	12	8	4
小 児 科	4	3	1	リウマチ科	0	0	0
呼吸器科	0	0	0	臨床病理科	0	0	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	1	1	0
総合診療科・内科	11	7	4	診療科目不問	7	3	4
脳神経内科	2	2	0	緩和ケア	0	0	0
呼吸器内科	12	8	4	内分泌糖尿病内科	6	4	2
リハビリテーション科	5	3	2	そ の 他	6	4	2
救命救急科	5	4	1	合 計	294	224	70

## 求人登録者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	不問	1	非常勤
160013	(医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	整,リハ,神内,循内,脳外	5	常勤・非常勤
160017	(医)宮崎博愛会 さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,緩和	5	常勤・非常勤
160020	(財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精	1	常勤
160031	(社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	内,外,整	4	常勤・非常勤
170048	(社医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内	1	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内,放	6	常勤
190087	(公社)宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	5	常勤
190094	(社医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	(社医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	(社医)善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	救急,外,呼内,消内,糖内	5	常勤・非常勤
200105	(医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	(医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
230139	(社福)介護老人保健施設 サンプローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230144	(生協)宮崎生協病院	宮崎市	消内,腎内,透,循内,呼内,内,健診	13	常勤・非常勤
230146	(財)潤和リハビリテーション振興財団潤和会記念病院	宮崎市	整,脳外,緩和,救急	4	常勤
230148	(医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形外,麻	3	常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	1	常勤
230177	(医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放	2	常勤
230185	(医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230194	(医)財団シロアム会 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤・非常勤
230196	(医)社団高信会 辰元病院	宮崎市	内	1	常勤
230209	(財)弘潤会 野崎東病院	宮崎市	内	1	常勤
230213	(医)聖美会 南宮崎ヤマモト腎泌尿器科	宮崎市	泌,内,透(いずれか)	1	常勤
230214	(医)聖美会 青島リゾートクリニック	宮崎市	内,外,リハ(いずれか)	1	常勤
230215	(医)社団紘和会 平和台病院	宮崎市	糖内,消内	3	常勤
230217	(医)けいあい かいクリニック	宮崎市	整,リハ	2	非常勤
230220	(医)社団 宮崎医療センター病院	宮崎市	総診,内,消内,呼内,整(いずれか)	2	常勤
230224	(医)雅会 河野整形外科	宮崎市	内	1	非常勤
230227	(医)マナビヤ マナビヤ在宅クリニック[un]	宮崎市	不問	3	常勤・非常勤
230230	(医)りっか会 ピア・ささき病院	宮崎市	精	2	常勤・非常勤
230231	(認N)ホームホスピス宮崎	宮崎市	内	2	常勤・非常勤
230233	(独)宮崎江南病院	宮崎市	呼内,総診,糖内	6	非常勤
230235	(医)青葉会 のぎきクリニック	宮崎市	内	5	常勤・非常勤
230240	(医)順養会 海老原病院	国富町	内	1	常勤
230241	(医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	1	常勤
230242	さくらメンタルクリニック	宮崎市	精	1	常勤
230243	(医)よしき会 どんぐりこども診療所	宮崎市	小	1	常勤
160010	(特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内	1	常勤
160018	(医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	整,消内,消外,麻,循内	5	常勤
170057	(医)清陵会 隅病院	都城市	内,整,訪診	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	消内	1	常勤
190092	(一社)都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	6	常勤
210114	(一社)藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	(医)倫生会 三州病院	都城市	内,消内,消外,乳外,麻,緩和	6	常勤・非常勤
230137	(医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230162	(一社)藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,循内,救急,呼内,放	10	常勤
230179	(医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	(医)社団牧会 介護老人保健施設はまゆう	三股町	内	1	常勤
230192	(医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	腎内	1	常勤・非常勤
230199	(医)社団アブラハムクラブ ベテスタクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230208	医) 社団権の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
230216	一社) 藤元メディカルシステム大悟病院	三股町	精,内	2	常勤
230225	医) 社団明恵会 早水公園クリニック	都城市	内	2	常勤・非常勤
230244	医) 社団清風会 清風会クリニック	都城市	血内,泌,腎内	6	常勤・非常勤
160012	医) 伸和会 延岡共立病院	延岡市	整,内	3	常勤
160021	医) 建悠会 吉田病院	延岡市	精	1	常勤
160034	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内,健診	3	常勤
190086	医) 早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医) 育生会 井上病院	延岡市	小	1	常勤
200102	一社) 延岡市医師会病院	延岡市	内,消内,消外,放	4	常勤
210109	一社) 延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230186	医) 隆誠会 延岡保養園	延岡市	精,内	2	常勤
230189	特医) 健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	2	常勤
230203	医) 杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
230210	医) あつきこころ 大貫診療所	延岡市	内,外(いずれか)	1	常勤
230219	財) 延岡リハビリテーション病院	延岡市	内,整,リハ	3	常勤
230238	医) en. 縁・在宅クリニック	延岡市	不問	2	常勤・非常勤
230245	医) 健寿会 黒木病院	延岡市	消内,消外	2	非常勤
160039	医) 誠和会 和田病院	日向市	外	2	常勤
210111	福) 恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,リハ	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	3	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230200	医) おざきメディカルアソシエイツ 尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医) 洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内,呼内,糖内	4	非常勤
230232	医) 社団弘文会 松岡内科医院	日向市	透	1	非常勤
230239	稲原眼科医院	日向市	眼	1	非常勤
160023	医) 宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,外,麻,健診	4	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	総診,救急,呼内,循内,神内,整	12	常勤・非常勤
230223	医) 聖山会 川南病院	川南町	内,腎内	3	常勤
160024	医) 隆徳会 鶴田病院	西都市	内,外,整,総診,透,循内	6	常勤
230204	医) 昇山会 上山医院	西都市	内,整(いずれか)	1	非常勤
230234	社医) 暁星会 三財病院	西都市	内	1	常勤
150002	社医) 慶明会 おび中央病院	日南市	内,リハ	3	常勤・非常勤
160022	医) 愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医) 十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅,眼	5	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内,呼内	6	常勤
230149	社医) 介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230188	医) 春光会 春光会記念病院	日南市	内,整	4	常勤・非常勤
230211	医) 秀英会 介護老人保健施設長寿の里	串間市	不問	1	常勤
230221	医) 文誠会 なんごう病院	日南市	内,外,消内	6	常勤・非常勤
230222	宮崎県立日南病院	日南市	消内	2	常勤
230236	医) 和真会 東内科クリニック	日南市	透	1	常勤
160019	医) 相愛会 桑原記念病院	小林市	循内,内,外	4	常勤・非常勤
170043	医) 和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	放,内,総診,麻	6	常勤
180076	医) けんゆう会 園田病院	小林市	外,内,総診	6	常勤・非常勤
190091	医) 友愛会 野尻中央病院	小林市	内,眼	3	常勤・非常勤
230167	医) 介護老人保健施設 さわかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医) 連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医) 友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,循内	3	常勤・非常勤
230218	医) 養気会 池井病院	小林市	腎内	1	常勤
230229	国民健康保険高原病院	高原町	内	1	非常勤
230237	医) 東陽会 整形外科前原病院	小林市	整	1	常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,眼,小	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和7年6月2日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ 2階 547.79㎡ 3階 177.95㎡ 計 1,400.48㎡ (424.38坪) ※別途駐車場あり (20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 函師医院跡
	③ 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ 2階 338.70㎡ 3階 330.69㎡ 4階 14.25㎡ 計 829.40㎡ (251.33坪) ※駐車場あり (50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 都城市東町10街区18号 土地：614.18㎡ (186.11坪) 建物：鉄筋コンクリート造3階建 1階 324.30㎡ 2階 322.11㎡ 3階 322.11㎡ 計 968.52㎡ (293.49坪) ※駐車場あり (3台) 別に隣接病院駐車場あり (応相談) ※賃貸部分は、2階、3階 (グループホームやすらぎ)	所有者：都城市北諸県郡医師会員 (医) 与州会 柳田病院
	② 宮崎市大字本郷南方字榎田2541番地1 土地：750.44㎡ (227.40坪) 建物：木造スレートぶき2階建 1階 255.27㎡ 2階 73.50㎡ 計 328.77㎡ (99.62坪) ※駐車場あり (15台)	所有者：宮崎市郡医師会員 (医) 健心会 滝口内科医院 (旧) のぞみ医院跡

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

### ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)  
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179  
E-mail : isikyoun@mizayaki.med.or.jp

# 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

## 宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

きりとりせん

お名前：

ご所属：

TEL：

FAX：

# 宮崎県医師会行事予定表

令和7年6月27日

7		月			
1	火	13:30 県歯科保健推進協議会 18:30 第7回全理事協議会 19:00 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会	16	水	14:50 宮崎大学医学部講義「地域社会と医療」 15:00 (日医) 日医地域医療対策委員会 16:00 支払基金審査運営協議会 19:00 (日南) 南那珂医師会との意見交換会
2	水				
3	木	13:00 全国医師会産業医部会連絡協議会 (Web会議)	17	木	10:00 女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座 14:00 宮崎県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会 19:00 医師国保組合通常組合会
		13:30 県総合計画審議会 13:30 (小林市) 社会保険医療担当者の個別指導 16:30 (日医) 日医業経営検討委員会 19:00 医師国保組合理事会			18
4	金		19	土	12:00 (秋田) 全国有床診療所協議会総会・講演会
5	土	13:00 (福岡) 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会	20	日	8:50 (秋田) 全国有床診療所協議会講演会
		17:00 (福岡) 九医連常任委員会 17:30 (福岡) 九州医連連絡会常任執行委員会	21	月	(海の日)
6	日	9:00 (福岡) 九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会	22	火	
7	月	19:00 県糖尿病対策推進会議幹事会	23	水	15:00 (日医) 日医有床診療所委員会 19:00 広報委員会
8	火	19:00 県内科医会医療保険委員会	24	木	14:00 社会保険医療担当者の新規個別指導 14:30 県国保等はり、きゅう及びあん摩マッサージ療養費審査委員会 18:30 県糖尿病・慢性腎臓病対策検討会
9	水	9:00 女性医師等保育支援サービスシステム事業サポート会員養成講座 15:00 日医救急災害医療対策委員会 (Web会議) 19:00 健康スポーツ医学委員会			25
10	木	19:00 県産婦人科医会常任理事会	26	土	15:00 (佐賀) 九州学校検診協議会専門委員会 15:00 (埼玉) 日産婦医会性教育指導セミナー全国大会 15:00 日医未来医師会ビジョン委員会 (Web会議) 16:00 (佐賀) 九医連常任委員会 17:00 (佐賀) 九州学校検診協議会役員会 18:00 (佐賀) 九州各県医師会学校保健担当理事者会
		13:30 県地方独立行政法人評価委員会 18:30 勤務医部会会計監査 19:00 勤務医部会理事会			
12	木	15:30 県外科医会理事会 16:00 県外科医会総会 16:00 県専門研修プログラム合同説明会 16:00 県整形外科医会評議員会 16:15 県整形外科医会総会 16:40 労災部会総会 17:00 県外科医会・県整形外科医会・労災部会合同学会	27	日	9:00 (佐賀) 九州ブロック学校保健・学校医大会/九州学校検診協議会 9:15 (埼玉) 日産婦医会性教育指導セミナー全国大会 12:00 (佐賀) 九医連学校医会評議員会
		28	月		
13	日	9:00 人体シミュレータを用いた在宅医療研修会	29	火	18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18:30 医師協理事会 (Web会議) 19:00 医師協理事・運営委員合同協議会 (Web会議)
14	月	19:00 広報委員会			終了後 第8回全理事協議会 (Web会議)
15	火	19:00 第3回常任理事協議会	30	水	15:00 労災診療指導委員会・労災部会理事会
			31	木	

※都合により、変更になることがあります。  
行事予定は県医師会のホームページからご覧いただけます。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和7年6月27日

8		月		
1	金	13:30 (東京) 全国医師国保組合連合会 代表者会	21 木	14:30 県国保等はり、きゅう及びあん摩 マッサージ療養費審査委員会 18:45 学校医部会総会・医学会 (Web会議) 19:00 県産婦人科医会全理事会 (Web会議)
2	土	9:00 県産婦人科医会新生児蘇生法講習会 16:00 (福岡) 九医国保連将来問題検討委員会	22 金	19:00 広報委員会
3	日		23 土	(福岡) 九医連常任委員会 (福岡) 九州医連連絡会執行 委員会 (福岡) 九医連定例委員総会 14:30 産業医研修会 (前期)
4	月	13:30 県地方独立行政法人評価委員会 19:00 損保ジャパンとの懇談会	24 日	9:00 人体シミュレータを用いた 在宅医療研修会 9:00 中四九地区医師会看護学校 協議会 (Web会議)
5	火	9:00 公益法人立入検査 (アイバンク) 19:00 第4回常任理事協議会	25 月	13:30 県国民健康保険運営協議会
6	水		26 火	18:00 九州地方社会保険医療協議 会宮崎部会 18:00 医師協理事会 18:30 医師協理事・運営委員合同 協議会 終了後 第10回全理事協議会 19:00 役職員懇談会
7	木	10:00 県総合計画審議会 18:30 勤務医部会総会・前期講演会 (Web会議)	27 水	15:00 労災診療指導委員会・労災 部会理事会
8	金	19:00 県有床診療所協議会総会・講演会 (Web会議) 20:00 日産婦医会性教育指導セミナー全 国大会引継会 (Web会議)	28 木	17:00 地域医療対策協議会プログラム運 用部会 18:00 地域医療対策協議会 19:30 県との妊婦健診等に関する協議会
9	土		29 金	17:00 県訪問看護ステーション連絡協議 会総会・研修会 (Web会議)
10	日		30 土	14:00 (群馬) 全国医師会共同利用施設総会 14:00 県プライマリ・ケア研究会世話人 会・総会・研修会 (Web会議)
11	月	(山の日)	31 日	9:30 (群馬) 全国医師会共同利用施設総会
12	火			
13	水			
14	木			
15	金			
16	土	14:00 県小児科医会子ども健康セ ミナー (Web会議)		
17	日			
18	月			
19	火	19:00 第9回全理事協議会 (Web会議)		
20	水	16:00 支払基金審査運営協議会 19:00 在宅医療協議会総会・研修会 (Web会議)		

※都合により、変更になることがあります。  
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

日本医師会からのお知らせ

**作品  
募集中**

# 生命

をみつめる

## フォト&エッセー

第9回

いのち

生命の大切さや  
心温まるエピソードを  
写真やエッセーで  
伝えてみませんか

応募締め切り

2025年  
10月3日

必着

両部門に  
賞を新設

### フォト部門

生命の尊さを感じさせる、  
あるいは生命の輝く瞬間を  
とらえた作品を募集します。



熊切大輔  
日本写真家協会会長



岩合光昭  
動物写真家  
cMachi Inc.代表



奈緒  
俳優

最高賞金 10万円

### エッセー部門

医師や看護師との交流、ご  
家族の介護や生命の誕生に  
まつわる話などを募集します。



養老孟司  
東京大学名誉教授  
/解剖学者



玄侑宗久  
作家 / 福沢寺住職



水野真紀  
俳優

最高賞金 30万円

公式ホームページ <https://jigyoku.yomiuri.co.jp/photo-essay/> 生命をみつめるフォト&エッセー 検索

主催：日本医師会、読売新聞社 後援：厚生労働省、文部科学省 協賛：東京海上日動火災保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社



# フォト部門



生命の尊さを感じさせる、あるいは生命の輝く瞬間をとらえた作品を募集します。人、動物、自然など被写体は自由です。

- 作品のプリントサイズは、キャビネ判(2L)とします。
- 応募作品は、2022年6月1日以降に撮影したものに限りです。
- 応募は1人3点まで。生成AIを利用して作成・編集した作品は応募できません。



一般の部

- 厚生労働大臣賞(1点) ……賞金 10万円・賞状他
- 日本医師会賞(1点) ……賞金 10万円・賞状他
- 読売新聞社賞(1点) ……賞金 10万円・賞状他
- 東京海上日動賞(1点) ……賞金 10万円・賞状他
- 審査員特別賞(数点) ……賞金 5万円・賞状他



小中高生の部

- 文部科学大臣賞(1点) ……QUOカード 3万円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点) ……QUOカード 5千円分・賞状他

# エッセー部門



病気やけがをした時の医師や看護師との交流、ご家族の介護や生命の誕生にまつわる話などを募集します(お世話になった医師や看護師らに宛てた「感謝の手紙」なども可)。

また、医師(医学生も含む)の皆さんからは医師になろうと思ったきっかけやエピソードなどもお待ちしております。

小学生の部では、日々の生活の中で生命の大切さを感じた出来事などをお送りください。

- 【一般の部・中高生の部】 ……2,000字(原稿用紙1~5枚)以内
- 【小学生高学年の部(4~6年生)】 ……1,200字(原稿用紙1~3枚)以内
- 【小学生低学年の部(1~3年生)】 ……800字(原稿用紙1~2枚)以内
- 応募は1人1点。生成AIを利用して作成した作品は応募できません。



一般の部

- 厚生労働大臣賞(1点) ……賞金 30万円・賞状他
- 日本医師会賞(1点) ……賞金 30万円・賞状他
- 読売新聞社賞(1点) ……賞金 30万円・賞状他
- 東京海上日動あんしん生命賞(1点) ……賞金 30万円・賞状他
- 審査員特別賞(数点) ……賞金 10万円・賞状他



中高生の部

- 文部科学大臣賞(1点) ……QUOカード 3万円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点) ……QUOカード 5千円分・賞状他



小学生高学年の部

- 文部科学大臣賞(1点) ……QUOカード 1万円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点) ……QUOカード 5千円分・賞状他



小学生低学年の部

- 文部科学大臣賞(1点) ……QUOカード 5千円分・賞状他
- 審査員特別賞(数点) ……QUOカード 3千円分・賞状他

### 応募規定

- 応募作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品に限りです。盗作・二重応募・類似・事実ではない創作作品の応募は固くお断りいたします。応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。
- 応募作品は返却いたしません。
- 入賞作品の発表は、2026年2月頃を予定しています。新聞紙面およびウェブサイトに、作品と実名・年齢・顔写真・学校名(小中高生の場合)を掲載します。ペンネーム、イニシャル等による発表はできません。
- 表彰式は2026年2月に東京都内で実施予定です。
- 医師および医療従事者も応募可能です。※応募規定の詳細は公式ホームページをご覧ください。

### 応募方法

- ウェブからの応募も可能です。詳細は公式ホームページ( <https://jigyou.yomiuri.co.jp/photo-essay/> )をご覧ください。
- エッセー部門は、直筆の場合、鉛筆(Bまたは2B)・ボールペン・万年筆のいずれかを使い、濃く書いてください。
- 郵送の場合は、作品に下記の応募用紙をつけて封筒に応募部門を記載の上、送付してください。



公式ホームページQRコード

お問い合わせ

読売新聞東京本社 社会貢献事業室「生命を見つめるフォト&エッセー」事務局  
TEL:03-3216-8598 (平日10:00~17:00)

作品送付先: 〒104-0061 東京都中央区銀座7-15-5 共同ビル3F「生命を見つめるフォト&エッセー」係

## 応募用紙

応募部門

フォト部門 一般の部

フォト部門 小中高生の部

エッセー部門 一般の部

エッセー部門 中高生の部

エッセー部門 小学生高学年の部 (4~6年生)

エッセー部門 小学生低学年の部 (1~3年生)

フリガナ	氏名	
住所	都 道 府 県	年齢 西暦 年 月 日生 歳
Mail	@	Tel ( ) -
職業(学校名)		
フォト部門のみ	撮影年月日	撮影場所
202 年 月 日		
入賞確認の上 チェックを 入れてください	<input type="checkbox"/> この作品は他のコンクール、コンテストなどに応募したものではありません <input type="checkbox"/> この作品は自作、フォト部門は応募者本人が撮影した未発表の作品で間違いありません <input type="checkbox"/> 入賞作品は、主催者・協賛社のホームページ、読売新聞紙面などに実名・年齢・作品・顔写真等を発表する他、作品に関する取材があることに同意します <input type="checkbox"/> (フォト部門)被写体の肖像権やプライバシーの侵害、事実関係に問題ありません	
応募の きっかけ	[1]チラシ(どこで: ) [2]学校(小・中・高・大・専門) [3]読売新聞紙面 [4]公式ホームページ [5]日本医師会(ホームページ・YouTube・LINE 公式アカウント) [6]公募サイト(サイト名: ) [7]その他(具体的に )	

応募締め切り

2025年  
10月3日(金)  
必着

入賞作品についての著作権  
 フォト部門は撮影者に帰属します。  
 エッセー部門は主催者に帰属します。  
 両部門とも入賞作品について、読売新聞紙上及びその他  
 広報物に使用する権利は、主催者が有します。

※氏名は実名のみ受付となります。応募用紙をフォト部門は写真の裏側に、エッセー部門は作品の右上に留めてください。1作品に1枚、応募用紙が必要です。

# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※=連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 7月2日(水) 19:00~21:00 宮崎県医師会館	早期離職を防ぎ新人が輝く新規入職者に対する研修の ポイント 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治  生涯研修の専門研修会：2単位	10 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和7年度心臓検 診二次検討会 (後期) 7月4日(金) 19:00~21:00 日向市東臼杵郡医 師会館	症例検討会 なかむら内科循環器内科 院長 中村 剛之	44 (2.0)	◇主催 日向市東臼杵郡医 師会心臓検診班 ◇後援 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222
宮崎県医師会産業 医研修会 7月9日(水) 19:00~21:00 串間市総合保健福 祉センター	早期離職を防ぎ新人が輝く新規入職者に対する研修の ポイント 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治  生涯研修の専門研修会：2単位	10 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第22回宮崎小児感 染症研究会 (Web講習会) 7月10日(木) 19:00~20:00 KITENビル8階 中会議室 ※受講は現地また はWeb	耳鼻咽喉・頭頸部領域の重症感染症 ～耳鼻科と小児科の連携が大切な疾患を中心に～ 関西医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座 准教授 日高 浩史	28 (1.0)	◇主催 宮崎小児感染症研究会 ◇共催 ※Meiji Seikaファルマ(株) ☎0985-25-6215

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※=連絡先
<p>令和7年度宮崎県 外科医会・宮崎県 整形外科医会・宮 崎県医師会労災部 会合同学会 (Web講習会) 7月12日(土) 17:00~18:00 宮崎県医師会館 ※受講は現地また はWeb</p>	<p>脊髄損傷の診断と治療 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座 整形外科科学分野 教授</p> <p style="text-align: right;">亀井 直輔</p>	57 (1.0)	<p>◇主催 ※宮崎県医師会労災部会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県外科医会 宮崎県整形外科医会</p>
<p>令和7年度第1回 都城市CKD予防 連携医研修会 (Web講習会) 7月15日(火) 19:15~20:45 未来創造ステー ション会議室1 ※受講は現地また はWeb</p>	<p>糖尿病関連腎臓病(DKD)治療の新たな展開 ~MRAへの期待~ 日本大学医学部 内科学系 腎臓高血圧内分泌内科学分野 主任教授</p> <p style="text-align: right;">阿部 雅紀</p>	82 (1.0)	<p>◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 バイエル薬品(株) ◇後援 都城市</p>
<p>宮崎県医師会産業 医研修会 7月17日(木) 19:00~21:00 都城市北諸県郡医 師会館</p>	<p>化学物質管理者制度と産業医 ~化学物質の性状に関連の強い労働災害~ 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント</p> <p style="text-align: right;">下津 義博</p> <p>生涯研修の専門研修会：2単位</p>	0 (2.0)	<p>◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会</p>
<p>精神科領域におけ る感染症/不眠症 治療を考える会 (Web講習会) 7月22日(火) 19:00~20:30 ホテルJALシティ 宮崎2階「オルソ」 ※受講は現地また はWeb</p>	<p>精神科病院におけるCOVID-19診療 up to date ~抗ウイルス薬による治療意義を考える~ 宮崎大学医学部 内科学講座 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科学分野 教授</p> <p style="text-align: right;">宮崎 泰可</p>	8 (0.5)	<p>◇主催 宮崎県精神科医会 ◇共催 ※塩野製薬(株) ☎0985-27-1041</p>
	<p>不眠症治療の新たな選択肢 ~ダリドレキサントをどのように臨床へ活かすべきか~ 久留米大学 学長</p> <p style="text-align: right;">内村 直尚</p>	20 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※=連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 7月23日(水) 14:00~16:00 宮崎県医師会館	職場のメンタルヘルスとストレスチェック制度 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子  生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 7月23日(水) 19:00~21:00 宮崎県医師会館	事業場のゲートキーパー活動を支援するために 産業保健相談員 産業カウンセラー 人財科学研究所 代表 工藤 智徳  生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和7年度感染対 策講演会 7月24日(木) 17:00~18:15 宮崎大学医学部附 属病院臨床講義室 205	多職種で取り組む感染制御 ～病院機能評価でS評価をもらう秘訣とは～ 大阪公立大学医学部附属病院 感染制御部 主査 感染管理特定認定看護師 岡田 恵代  専門医共通講習－感染対策（必修）：1単位	8 (1.0)	◇主催 宮崎大学医学部附属病院 (連絡先) 宮崎大学医学部附属病院医 療人育成課卒後臨床研修係 ☎0985-85-1864
第195回宮崎心臓 病研究会 (Web講習会) 7月24日(木) 18:45~20:00 宮崎市郡医師会病 院大会議室2 ※受講はWebのみ	誰にPCIを行うべきか ～ISCHEMIA試験, PREVENT試験を受けて～ 千葉大学大学院医学研究院 循環器内科学 教授 小林 欣夫  他	75 (1.0)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 アムジェン(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101
令和7年度宮崎市 郡医師会予防接種 勉強会 (Web講習会) 7月25日(金) 19:00~20:00 宮崎市郡医師会館 ※受講はWebのみ	予防接種間違いゼロへ！ ～適正な予防接種の実施について～ 宮崎市健康管理部 健康支援課 主任主事 植田 大聖	7 (1.0)	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※=連絡先
第58回児湯内科医 会学術講演会 7月25日(金) 19:00~20:00 児湯医師会館	腎臓専門医からみたARNI(仮) 大隈鹿屋病院 副院長 田村 幸大	82 (1.0)	◇主催 児湯内科医会 ◇共催 ノバルティスファーマ(株) 大塚製薬(株) (連絡先) 児湯医師会 ☎0983-22-1641
令和7年度第1回 宮崎県緩和ケア研 修会 (Web講習会) 7月26日(土) 9:00~17:30 宮崎大学医学部プ レゼンテーション ホール ※受講は現地また はWeb	e-learningの復習・質問 宮崎大学医学部附属病院 精神科 医師 船橋 英樹 他	15 (0.5)	◇主催 ※宮崎大学医学部附属病院 ☎0985-85-1510
	コミュニケーション 宮崎医療センター病院 泌尿器科・緩和ケア 医師 山崎 浩司 他	4 (1.5)	
	全人的苦痛に対する緩和ケア 宮崎医療センター病院 消化器内科 医師 矢田 崇純 他	10 (1.5)	
	療養場所の選択と地域連携 和田病院 緩和ケア内科 医師 丸田 望 他	13 (1.5)	
第37回ひむか骨関 節・脊椎脊髄疾患 セミナー (Web講習会) 7月26日(土) 15:30~17:30 KITENビル8階 大会議室 ※受講は現地また はWeb	頸椎症に関する病態と治療のUp-to-date ~手術治療から保存療法まで~ 東京科学大学 医歯学総合研究科 整形外科学分野 准教授 平井 高志	63 (1.0)	◇主催 ひむか骨関節・脊椎 脊髄疾患セミナー ◇共催 ※第一三共(株) ☎070-1377-6776
	腰痛, 神経障害性疼痛に対する臨床・疫学研究 ~健康寿命延伸のために~ 名古屋大学医学系研究科 整形外科学/リウマチ学 主任教授 今釜 史郎	60 (1.0)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※＝連絡先
<b>第96回宮崎大学眼科研究会</b> 7月26日(土) 16:10～19:00 宮崎大学錦本町キャンパスわくわくセンター  参加費:2,000円	<b>宮崎大学医学部附属病院 眼科専門外来の症例から</b> 宮崎大学眼科 医局員 梶原 夏輝  他	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部感覚運動医学講座眼科学分野 ☎0985-85-2806
	<b>これからの斜視診療</b> 浜松医科大学医学部 客員教授 佐藤 美保	36 (1.0)	
<b>宮崎県医師会産業医研修会</b> 7月30日(水) 14:00～16:00 宮崎県医師会館	<b>職場でみられるうつ病とその対応</b> 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子  生涯研修の専門研修会:2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
<b>延岡医学会学術講演会～東北の脳神経疾患を考える～(Web講習会)</b> 7月30日(水) 19:00～20:30 エンシティホテル延岡3階「山水」 ※受講は現地またはWeb	<b>脳卒中診療の最前線 県北診療のこれから</b> 県立延岡病院 脳神経外科 医長 柴田 碧人	9 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 第一三共(株) (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
	<b>脳腫瘍診療の最近のトピックスとてんかん</b> 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 脳神経外科学分野 教授 沖田 典子	30 (0.5)	
<b>宮崎県医師会産業医研修会</b> 7月30日(水) 19:00～21:00 宮崎県医師会館	<b>企業における受動喫煙防止対策と禁煙支援</b> 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治  生涯研修の専門研修会:2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
<b>宮崎県医師会産業医研修会</b> 7月31日(木) 14:00～16:00 宮崎県医師会館	<b>有害化学物質の管理</b> 産業保健相談員 宮崎大学国際連携機構・国際連携センター 客員教授 黒田 嘉紀  生涯研修の専門研修会:2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※=連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会 8月7日(木) 19:00~21:00 延岡市職業訓練支 援センター	化学物質管理者制度と産業医 ～化学物質の性状に関連の強い労働災害～ 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博  生涯研修の専門研修会：2単位	0 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月13日(水) 19:00~21:00 串間市総合保健福 祉センター	企業における受動喫煙防止対策と禁煙支援 産業保健相談員 串間市民病院 内科 江藤 敏治  生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 8月20日(水) 19:00~21:00 延岡市職業訓練支 援センター	事業場のゲートキーパー活動を支援するために 産業保健相談員 産業カウンセラー 人財科学研究所 代表 工藤 智徳  生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第62回宮崎救急医 学会 8月23日(土) 14:40~15:40 千代田病院  参加費：1,000円	南海トラフ巨大地震から宮崎の医療を守る(仮) 宮崎大学医学部 病態解析医学講座 救急・災害医学分野 教授 宮崎大学医学部附属病院 救命救急センター長 落合 秀信	14 (1.0)	◇主催 宮崎救急医学会 ◇共催 日向市東臼杵郡医師会 日向市東臼杵郡医師会内科医会 (連絡先) 千代田病院 ☎0982-52-7111
第196回宮崎心臓 病研究会 (Web講習会) 8月25日(月) 19:00~20:00 KITENビル中会 議室 ※受講は現地また はWeb	公表が迫る高血圧治療ガイドライン2025 ～日常診療に活かすポイント～(仮) ヨコクラ病院 総合診療部 部長 甲斐 久史	74 (1.0)	◇主催 宮崎心臓病研究会 ◇共催 ノバルティスファーマ(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-77-9101

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※=連絡先
宮崎県内科医会学術 講演会COVID-19セ ミナーin宮崎 (Web講習会) 8月26日(火) 19:00~20:00 ホテルJALシティ 宮崎2階オルソ ※受講は現地また はWeb	<b>COVID-19に対する抗ウイルス薬投与の意義 ～新型コロナウイルス感染症診療指針～</b> 長崎大学 医歯薬学総合研究科 臨床感染症学 准教授 長崎大学病院 呼吸器内科 高園 貴弘  他	8 (1.0)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※ファイザー(株) ☎090-4225-7843
宮崎県医師会産業 医研修会 8月27日(水) 14:00~16:00 宮崎県医師会館	<b>職場でのアルコール依存症に対する対策</b> 精神科専門医・指導医 宮崎県精神保健福祉センター 所長 直野 慶子  生涯研修の専門研修会：2単位	11 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
骨粗鬆症治療update (Web講習会) 8月27日(水) 19:00~20:00 宮崎観光ホテル東 館2階「日向の間」  参加費：1,000円	<b>骨密度と骨質の向上を目指した骨粗鬆症治療とは ～ガイドライン改訂をふまえて～</b> 東京慈恵会医科大学 整形外科学講座 主任教授 齋藤 充	77 (1.0)	◇主催 宮崎県整形外科医会 ◇共催 アムジェン(株) ※アステラス製薬(株) ☎080-1310-6167
宮崎県医師会産業 医研修会 8月27日(水) 19:00~21:00 宮崎県医師会館	<b>今日のうつ病の現状と対策</b> 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究  生涯研修の専門研修会：2単位	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

-----  
あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
a	a	d, e	b	e	d	b	e	d	b

## 診療メモ



## 通院患者死亡時の警察対応と医師の留意点

MKクリニック・宮崎県警察医会 幹事 やなぎ た みつろう 柳 田 美津郎

死体が発見された場合、警察が検視を行い、医師が死体検案を行い、死因を特定して死体検案書を作成します。検視とは何かということですが、広義の意味では警察官がその職務に関して、死体を発見し、または発見した旨の通報を受けた場合に法令に基づいて行う当該死体取り扱い業務の全般を言います。

死体の状態などによって、犯罪死体（犯罪によることが明らかな死体）、犯罪捜査を行う変死体（犯罪による死亡の疑いがある死体）は検視を行う、その他の死体（犯罪死体および変死体以外の死体）は死体調査を行います。検視は、死亡が犯罪に起因するものであるかどうかを判断するために、五官\*の作用により、死体の状況を外表から調べる処分をいいます。いわゆる司法検視といわれるもので警察官が行う検視の手続き、方法、その他必要な事項は検視規則に定められています。死体調査とは、犯罪死体や変死体以外の死体について、公共の福祉公衆衛生などの立場から死因、身元、その他不自然な死亡の状況を明らかにするためその死体の状況を調べるものです。

通院患者が自宅などで亡くなった場合の医師への聴取内容とその必要性ですが、死者の病歴、患者さんの既往歴は、死因究明の重要な項

目です。病歴や最近の診察歴、処方された薬、患者さんやその家族の言動などを総合的に判断します。具体的には、カルテ記載の初診日、既往病名、症状（初診時と現在）、入院期間、通院機関、最終通院日、その他病名と死因との因果関係、手術歴、病院でのトラブル関係、投薬の処方状況など。投薬の処方状況は既往歴の裏付けとなることだけでなく、必要に応じて薬物検査を実施した際に処方された薬と矛盾がないか。逆に処方された薬以外の薬物（特に睡眠薬など）が検出されると犯罪性を疑うこととなります。

通院患者が救急搬送され死亡し、事件性が疑われる場合の検視については、通院医療機関と死亡確認を行った医師に対して、聴取が行われます。患者さん自身の症状の訴え状況や言動が犯罪性や死因の判断の要素となります。患者さん自身もですが、家族についても発見時の状況など、医師に説明した内容と警察官に説明する内容に矛盾や変遷がないかも重要な要素です。

亡くなってからの流れは、警察への通報→警察官臨場→検視→引き渡しとなります。

基本のご遺体をお預かりし、警察署の霊安室で検視を行います。検視を行う場合医師の立ち会いが必要です。検視とともに、ご家族の聴

\* 五官 … 視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚の5つを感覚する器官

取、通院医療機関への聴取、現場見分などを実施し犯罪性がなく、死因と身元が特定されれば、立ち会い医師が死体検案書を作成のうえ、ご家族にお引き渡しをします。逆に、犯罪性が疑われる場合や死因が判明しない場合には、解剖となります。

### 死亡時画像診断（AiCT）の有用性について

死因特定には、CTが特に有用です。解剖となると、実施する大学との日程調整や鑑定処分許可状という裁判所への許可状の請求手続きが必要となります。そのうえご遺族の感情としても遺体を傷つけるというイメージが日本人には強くあります。

診療行為時に撮影したCTのデータ提供や死亡時のAiCT撮影は、死因特定に非常に有用です。CT解析による死因特定であれば、早くご家族に引き渡しができることやご遺体を傷つけないで済み、また警察官の負担が減るといったメリットがあります。

宮崎県の過去10年間の死体取り扱い状況は下記の表のとおりです。

年	件数
H27	1,393
H28	1,330
H29	1,327
H30	1,323
R1	1,253
R2	1,314
R3	1,362
R4	1,467
R5	1,465
R6	1,633

平成27年は、1,393件で、令和3年まで令和元年を除いては、1,300件台で推移。

令和4年に1,467件と1,400件台を超え、昨年令和6年は1,633件と急増。

令和6年は、7月8月の猛暑の時期に急増し、また気温が急激に下がった年末年始に増加していました。なお今後は、人口の高齢化を反映して、

高齢者の死亡数が増加するため警察の死体取り扱い件数も増加が見込まれます。

最後に、警察および警察医会からのお願いですが、あらためて診療情報照会への協力をお願いいたします。個人情報保護法を根拠として回答拒否をされる場合があります。

厚生労働省の医療、介護関係者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドラインで、捜査関係事項照会に対する回答は第三者提供制限の例外として本人の同意を得る必要がないと明記されています。また、死因身元調査法第4条第3項の規定に基づく警察署長らの死者の診療情報などに関する情報提供の依頼は、個人情報保護法第23条第1項第1号の「法令に基づく場合」に該当するため、遺族の同意がなくても、その情報を提供することができます（平成25年3月28日付厚生労働省医政局長通知文）。

警察官が照会した診療情報は、検視の立ち会い医師に伝えられ、死体所見の参考や死因特定の根拠となるので、早期の回答が望ましいです。警察官は職責の達成のため聴取をしています。診察中など、極力、ご迷惑のないように配慮はしておりますので、ぜひ信用して協力してください。死体検案などへの協力について、今後、高齢化だけでなく気候変動も加わり、検視件数が減少することなく、増加の一途をたどると思われれます。

AiCT撮影や読影の協力、検視時の立ち会いと死体検案など、宮崎県警察医会への加入をお願いいたします。

## 宮大医学部学生のページ



## 部活動紹介～軟式テニス部～

宮崎大学医学部 医学科3年 <sup>ひ</sup> <sup>だか</sup> <sup>そう</sup> <sup>た</sup>  
日 高 想 大

こんにちは。宮崎大学医学部軟式テニス部です。今回は、あまりメジャーではないかもしれませんが、私たちが日々汗を流している「ソフト（軟式）テニス」というスポーツについてご紹介させていただきます。ソフトテニスとは、その名のとおり柔らかいゴムボールを使うラケットスポーツで、ネットを挟んで相手とラリーを繰り返し、ポイントを取り合う競技です。一般的にテニスとして認識されている硬式テニスと比べると、小中学校の部活動などで経験したことがある方も多く、親しみのあるスポーツかもしれません。

ソフトテニスは主にダブルス（2人1組）で行うことが多く、2人の連携がとても重要です。基本的に前衛と後衛に分かれ、ペアの得意・不得意を理解し、瞬時に判断しながら動くことが求められます。1球のラリーの中にも無数の選択肢があり、「どこに打つか」「次に何を狙うか」「相手が何を考えているか」といった駆け引きが常に行われています。単に球のスピードだけでなく、球の高さや長さ、ラリーのテンポ感など戦略的思考も問われるスポーツなのです。また、ソフトテニスは他の競技と比べ

ても、プレー中に発せられるペアからの掛け声やスタンドからの声かけがとても活発なスポーツです。試合中はペアと声をかけ合って互いに集中力を高めたり、よいプレーができたときは、声を出して喜ぶことによりペアでモチベーションを上げたり、逆にミスをしたときは、互いを励まし合ったりします。そして何より、ソフトテニスの魅力は「誰でも楽しめる」というところにもあります。もちろん上を目指せば技術の奥深さに悩むこともありますが、ラケットとボールさえあればすぐに始められる手軽さもあり、初心者でも楽しみながら上達できるスポーツです。大学から始める人も少なくなく、実際宮崎大学医学部軟式テニス部の現役部員は半数が初心者です。経験者の先輩や同期から教わりながら仲間と切磋琢磨し、少しずつ成長していく過程もまた大きな楽しみの一つです。

さて、私たち宮崎大学医学部軟式テニス部は現在、男子24名、女子30名、計54名の大所帯で活動しています。男女ともに週3回清武キャンパスのテニスコートで練習を行っています。出場する主な大会は、九州・山口医科学生体育大会（春の九山）、西日本医科学生体育大会

(西医体)、神田杯・中村杯・中島杯・綾部杯(秋の九山)の3大会です。今年の九山では、団体戦にて見事男女でアベック優勝という結果を残すことができました。男子部は、団体戦出場メンバー12人のうち、5名が大学から始めた選手という他大学と比べて不利な条件の中で、16年ぶりの優勝を果たしました。女子部は、毎年メンバーが半分以上変わりながらも全戦全勝し、コロナ明け以降3連覇しております。また個人戦においても、女子が優勝、準優勝、男子が3位という好成績を残すことができました。出場メンバーはもちろん、他のメンバーも勝利を信じ、男女互いに応援して戦ったことが団体戦アベック優勝につながったのだと思います。次の目標である西医体での上位入賞に向け、新しく入った1年生とともにチーム一丸となって練習に日々励んでいます。



九山の大会写真



男子団体戦優勝の瞬間

また、部活動以外にもさまざまなイベントを開催しています。例えば、無人島キャンプやBBQ、学祭などの行事があり、部員同士の親睦を深める大切な機会となっています。無人島キャンプは数年前より始まったイベントで、日南の無人島に行って1泊2日を過ごすというものです。昼は釣りや素潜りなどをして、夜はBBQをしながら飲み会をして楽しみました。夜遅くまでゲームやお話をして盛り上がり一夜を明かしたことはかけがえない思い出です。BBQは今まで開催していた蛍狩りの代わりに今年から企画しています。蛍狩りは時期や天候に恵まれず中止になることが多かったため考えられました。一ツ葉サンビーチで新しく入る1年生の歓迎会も兼ねて行います。学祭では、毎年1・2年生でうどんを作っています。当日朝早くから準備をして、兼部先のステージや他の学祭イベントの仕事も兼任しながらも、男女で協力してうどん作りをしています。一杯300円程度で販売しており、毎年冷え込む学祭では400杯以上売り上げています。特に肉うどんやカレーうどんが人気で、出前なども受け付けています。

最後になりますが、宮医軟式テニス部のOB・OGの先輩方、宮崎県医師会、宮崎県の県民の皆様の多大なるご支援によりこのような充実した部活動、学生生活を行わせていただいております。部員一同感謝申し上げます。今後とも宮崎大学医学部軟式テニス部をよろしく願いたします。

## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
6月3日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宮崎県物価等高騰対策緊急支援金の支給・申請について（案内）</li> <li>・「令和7年診療所の緊急経営調査」ご協力をお願い</li> <li>・医師及びその他の医療従事者の労働時間短縮に資する機器等の特別償却制度について（情報提供）</li> <li>・コロナ禍の特例の申請について</li> <li>・保険医療機関における書面掲示事項のウェブサイトへの掲載について（その2）</li> <li>・令和7年度スポーツによる地域活性推進事業（運動・スポーツ習慣化促進事業）における協力依頼について</li> <li>・「障害のある方へのスポーツ指導・関わり方入門ハンドブック」について</li> <li>・抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について</li> <li>・抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について</li> <li>・労働安全衛生規則の一部を改正する省令の施行等について</li> <li>・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について</li> <li>・ファビハルタカプセル200mg、タグリッソ錠40mg及び同錠80mg、セムブリックス錠20mg及び同錠40mg、ライブリバント点滴静注350mgの医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について</li> <li>・アシミニブ塩酸塩製剤の医薬品医療機器法上の用法及び用量の一部変更について</li> <li>・令和6年能登半島地震により被災した組合員等に係る一部負担金等の徴収の猶予等に係る取扱期間延長について</li> </ul>
6月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NHKスペシャルへの抗議文提出に関する周知のご依頼</li> <li>・「医療扶助のオンライン資格確認導入に係る医療機関等助成事業」について（周知依頼）</li> <li>・経済産業省による令和6年度補正予算省エネ補助金の2次公募期間等について（情報提供）</li> <li>・令和7年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について（通知）</li> <li>・「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き（第4.2版）」の公表について</li> <li>・MCDBによる医療法人の経営情報の電子的報告について</li> <li>・梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について</li> </ul>

送付日	文 書 名
6月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について</li> <li>・介護保険の地域支援事業における在宅医療・介護連携推進事業の手引き等について</li> <li>・介護福祉士国家試験におけるパート合格（合格パートの受験免除）の導入について（情報提供）</li> <li>・疑義解釈資料の送付について（その27）</li> <li>・令和7年度薬価改定に伴う診療報酬上の臨時的な取扱いに係る追加対応について</li> <li>・「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について</li> <li>・療担規則及び薬担規則並びに療担基準に基づき厚生労働大臣が定める掲示事項等の一部改正等について</li> <li>・「療養の給付及び公費負担医療に関する費用の請求に関する命令の一部改正に伴う実施上の留意事項について」の一部改正について</li> <li>・ペムプロリズマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（悪性胸膜中皮腫）の作成及び最適使用推進ガイドラインの一部改正について（通知）</li> </ul>
6月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（医師会以外の研修会主催者向け）研修会開催に伴うMAMISへの登録勧奨および取得単位確認方法のご案内について</li> <li>・令和7年度第2回産業医Web研修会の開催について</li> <li>・令和6年度介護報酬改定を踏まえた高齢者施設等と協力医療機関との連携促進に係る対応について</li> <li>・「高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準」の改正について</li> </ul>
6月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関への支援に関する「重点支援地方交付金」の活用について</li> <li>・令和7年度介護現場の生産性向上に関する普及加速化事業一式生産性向上ビギナーセミナー・フォローアップセミナー参加案内・周知のお願い（情報提供）</li> <li>・独立行政法人福祉医療機構による医療貸付事業融資制度利用希望者に対する個別融資相談会の開催について</li> </ul>
6月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業雇用安定センターの活用について（情報提供）</li> <li>・厚生労働省九州厚生局指導監査課及び各県事務所の窓口相談及び電話での照会・相談に係る時間変更について（依頼）</li> <li>・「私たちをもっと守る、マイナ保険証（第1弾）」動画の提供方法について</li> <li>・国立健康・栄養研究所「『健康食品』の安全性・有効性情報（HFNet）」及び「素材情報データベース」の周知について</li> <li>・日本医師会「地域に根ざした医師会活動プロジェクト」第4回シンポジウムの開催について（御礼）</li> </ul>

送付日	文 書 名
6月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和7年度医療情報セキュリティ研修の実施について</li> <li>・ 「第69回九州ブロック学校保健・学校医大会」における基調講演Ⅰの講師・演題の変更について（ご案内）</li> <li>・ 「学校における医療的ケア実施体制の拡充事業報告書」「学校における医療的ケア看護職員の人材確保・配置方法に関する取組事例集」の公表について（情報提供）</li> <li>・ 日本学校保健会が主催する研修会の開催要項の送付について（送付）</li> <li>・ 「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」及び「「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」に関するQ&amp;A（事例集）」の一部改正について（通知）</li> <li>・ 健康保険法施行令等の一部を改正する政令等の公布について（通知）</li> </ul>
6月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内での患者ハラスメント（いわゆるモンスターペイシエント）に関する相談窓口についての再周知</li> <li>・ 令和6年職場における熱中症の発生状況（確定値）等について</li> <li>・ 「法的脳死判定マニュアル2024」及び「法的脳死判定マニュアル2024に関する質疑応答書」について</li> <li>・ オセルタミビルカプセル75mg「サワイ」（流通用製剤）の使用期限の取扱いについて</li> <li>・ 使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について</li> <li>・ 令和7年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会（群馬大会）の開催に係る予報について（送付）</li> <li>・ 「令和7年度ACCe-learning」受講案内について</li> </ul>
6月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和6年度におけるベースアップ評価料の算定金額総額の情報提供について（国保連合会及び支払基金からの情報提供）</li> <li>・ マイナ保険証のスマートフォンへの搭載に係る実証事業について</li> <li>・ 令和7年度厚生労働省外国人患者受入れ医療機関対応支援事業「夜間・休日ワンストップ窓口」及び「希少言語に対応した遠隔通訳サービス」オンライン説明会（第1回）のご案内について</li> <li>・ 厚生労働省令和7年度補助金事業『医療通訳者、外国人患者受入れ医療コーディネーター配置等支援事業』『医療通訳配置等間接補助事業』実施団体（医療機関）の公募について</li> <li>・ 海外現地と自治体等の連携による外国人介護人材確保策に係る調査研究事業について（情報提供）</li> <li>・ 「特別養護老人ホームにおけるサービス提供のあり方に関する調査研究事業（令和6年度老人保健健康増進等事業）」の報告書及び手引きについて（情報提供）</li> <li>・ 黄熱予防接種巡回診療の開始について</li> </ul>

送付日	文 書 名
6月27日	<ul style="list-style-type: none"><li>・救急安心センター事業（#7119）の認知度向上に向けた広報物の周知について</li><li>・厚生労働省「医療等分野における雇用仲介事業に関する調査研究事業」アンケート調査への協力をお願い</li><li>・令和7年8月からの室料相当額控除の適用について</li><li>・「『素敵な広報』共有事業」の協力拡大をお願い</li><li>・令和7年度「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」標語募集への協力依頼について</li><li>・日本学校保健会が主催する研修会の開催要項の送付について（送付）</li><li>・トアルクエタマブ（遺伝子組換え）製剤の使用にあたっての留意事項について</li></ul>
7月1日	<ul style="list-style-type: none"><li>・「地域医療構想アドバイザー」の推薦について</li><li>・令和7年度「働き方改革推進支援助成金」の申請マニュアル動画の公開について（情報提供）</li><li>・令和7年度エイジフレンドリー補助金の周知について（お願い）</li><li>・宮崎県看護の就職フェアの開催について（依頼）</li><li>・令和7年度ICTを活用した在宅看取りに関する研修推進事業「医師による遠隔での死亡診断をサポートする看護師を対象とした研修会」の開催について</li><li>・「使用上の注意」の改訂について</li></ul>

## お知らせ

### 地球温暖化防止対策（クールビズ）の実施について

宮崎県医師会では、地球温暖化防止に向けて、**5月1日から10月31日**までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組みます。

会議などの場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖など）で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

# 医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

## 医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

## 医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談  
無料



まずは、お電話ください。

## 宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

## 日州医事原稿募集のお知らせ

日州医事では、会員の皆様から随筆、旅行記、ご意見などさまざまな投稿を随時受け付けております。以下の要領に沿ってご投稿ください。

### ■ 随想・随筆・旅行記

字数：3,000字以内

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

### ■ 短歌・俳句・川柳・詩

字数：それぞれの一般的な文字数（500字以内）

写真：執筆者顔写真、その他本文に関連した写真・イラストなども掲載可

### ■ 宮崎グルメ探訪

題材：お気に入りのお店をご紹介ください。お店の雰囲気やお薦めの料理、思い出話など

字数：800字程度

写真：執筆者顔写真、その他料理などの写真（2枚程）

※掲載は白黒

### ■ 私の本/私が推薦する本

題材：書物の紹介、読みどころ、執筆の思い出・思い入れなど

字数：800字以内

写真：執筆者顔写真、書物の表紙写真

### ■ その他

- ・夏の「はまゆう随筆」、新年の「新春随想」はその時期に本誌で原稿募集の案内をいたします。
- ・随筆などに掲載する、カット・イラストも随時募集しています。

### ～上記のコーナーにご投稿いただくにあたっての留意事項～

■掲載の可否・方法につきましては広報委員会にご一任ください。

■原稿の趣旨を変えない範囲で、日州医事のルールにしたがって表記などの修正をさせていただく場合があります。

■日州医事は、各都道府県医師会や行政・図書館・報道機関などにも配布しています。

### ■すべての投稿について

広報委員会で以下のいずれかに該当すると判断した場合には、修正または掲載をご遠慮いただくことがあります。

- ・著作権をはじめ、法令に定める権利やプライバシーを侵害するもの
- ・誹謗中傷や差別など、他の団体、個人または読者に不利益や嫌悪感を与える可能性があるもの
- ・布教や政治活動など、特定の宗教上や政治上の信条に偏ったもの
- ・公序良俗に反し、法律で禁止されている行為など、その他不適切と判断されるもの
- ・事実誤認、難解、過度な宣伝広告など

【原稿送付・問合せ先】ご投稿は主にメールで受け付けております。

宮崎県医師会広報委員会 日州医事担当（弓削）

Tel 0985-22-5118 Fax 0985-27-6550 E-mail genko@miyazaki.med.or.jp

## あとかき



フロントに相談し、あちこちあたってもらったのですが、耳鼻科と脳外科があるところだと断られ続けました。やっと見つけてもらい、受診したのは深夜0時でした。叱られると思ったのですが、耳鼻科の若い先生に優しく対応していただきました。ボスマンガーゼで止まらず、CT撮影の後、内視鏡による観察と処置のおかげで無事に出血が止まり、医療のありがたみを痛感しました。

近年、医療費増大への対策として病床数削減の動きがあります。病床数を減らすと、救急搬送困難事例や入院待機患者の増加が懸念されます。患者さんの身体的・精神的負担、病状悪化も心配です。上記の場合は専門的に診ていただけたところがあってよかったのですが、医療の効率化の先には「行き場のない入院が必要な人、受診したくてもできない人」が我慢を強いられる事案が出てくるのではないのでしょうか。多くの人は良質で便利な医療を望んでいるはずですが。受益者だけに負担を強いるのも困難です。いろいろな考え方や立場があり調整は難しいかもしれませんが、医療制度は誰もが納得できるものにしてほしいと思います。 (下窪)

\* \* \*

TVでは、高齢者を狙ったフェイクニュースで再生回数を上げて金を稼いでいる連中がいるとの報道があります。実際に騙された高齢者が役所に確認して業務に支障が出ているようです。皆さん注意して騙されないようにしましょうとのことですが、違うでしょう。全然違うでしょう。まずは、偽情報で社会に迷惑をかけている連中の一斉検挙と、金を渡して犯罪を幫助しているYouTubeなどへの罰則が第一でしょう。日本を舐めるな。違う党の標語ですが。政府は何を遠慮しているのでしょうか。 (菊池)

\* \* \*

5月号のあとかきに続いて梅の話です。梅のしょうゆ漬けを作りました。増羽梅という品種が好きで、果肉が硬くしょうゆ漬けにするとカリカリとした食感を楽しめます。とてもおいしく漬かりました。南高梅という品種は果肉が少し柔らかく、塩漬けやシロップ漬けに合うと個人的には思っています。いつも購入するお店によると、熟した南高梅の出荷は7月初旬からだそうです。漬けた梅を食べて暑い夏を乗り切ろうと思います。 (高村)

\* \* \*

在宅の学会で長崎に行ってきました。長崎新幹線に乗ってみたい、というのが目的の半分くらいでした。宮崎空港から空路で福岡空港へ。地下鉄で博多駅へ。博多から武雄温泉まで在来線特急で。武雄温泉から長崎でやっと新幹線という慌ただしい乗り継ぎでした。地元の人は慣れたものでスマホで乗車券を表示していました。車掌さんが目視確認するのは今も変わらず。自動車だと7時間くらいかかるので、ずいぶん近くなったものです。 (國枝)

11年前、東京のホテルで階段を駆け上がった際に転倒し、鼻を強打して大量の鼻出血を生じました。夕方6時ごろに負傷し、部屋で圧迫し続けたのですが、数時間経っても出血が止まりませんでした。粘ったのは、学生時代に西医体の空手の試合で正拳突きを顔面に受け大量出血した経験があったからかもしれません。観念してフ

医学部の音楽祭に向け練習の毎日を通り過ぎています。今年は例年の会場である清武文化会館が使えないため、宮崎市民文化ホールでの開催になります。普段ライブやコンサートで観客側で行く場所なので、いつも以上に緊張のステージになりそうです。私事ですが、部屋のエアコンが壊れてしまいました。修理は1か月先とのことです。まだ6月ですが30°Cを超える日も珍しくありません。今年はいつも以上に熱中症に気をつけていきたいです。 (宮本)

\* \* \*

今村翔吾の『イクサガミ』シリーズの最終巻の発売が発表されました。第1巻のときから一冊読んで次は次の巻の発売を楽しみに過ごす日々を繰り返して、生まれて初めてシリーズ本をリアルタイムで追う、という体験をしています。今村作品は『塞王の盾』を読み、面白さのあまりに小説の舞台の滋賀に1人で旅行したほどハマったことがきっかけで読むようになりました。『イクサガミ』は明治維新の時代が舞台のバトルロワイヤルで、宮崎県出身の小村寿太郎も一瞬出てきます。本当に一瞬です。ぜひ読んでみてください。 (安丸)

\* \* \*

最近自転車を買って替えました。前の自転車はちょうどコロナによる非常事態宣言が初めて出されたときでした。時同じくして県医師会の仕事が始まりました。スイミングのジムも休館となり、唯一の運動が県医師会までの往復となり5年が経過しました。ランナーズハイではありませんが、運動と思い高岡までママチャリで往復したこともありました。往路は達成感でしたが復路は後悔ばかりでした。今度の新自転車では無理せず長く付き合っていきたいと考えております。 (高木)

## 今月のトピックス

### 日州医談 地域医療・介護体制の課題と展望

今後、少子高齢化と人口減少が進みます。逼迫した社会保障を維持するために、我々医師は、将来の高齢者の介護度を低くする努力が必要です。 4 ページ

### はまゆう随筆 ネズミの実験

日本の今の人口減少、出生率低下が1960年代のネズミの実験と同様であることが恐怖を感じます。知性が高い人間では最終結果が異なることを願います。 10ページ

### 各郡市医師会だより

延岡市医師会、赤須先生が記されているように、経営が厳しい医療機関が増えてきています。各人が問題意識をもって、選挙、政治に参加していかないとはいけません。 22ページ

### 診療メモ 通院患者死亡時の警察対応と医師の留意点

私も、忙しい診療中の問い合わせに個人情報保護を理由に不誠実な対応をしていました。反省しました。本当に警察なのかがわかる問い合わせの方法が必要ではないでしょうか。 66ページ

(文責：石田 康行)

日 州 医 事 第911号(令和7年7月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行  
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550  
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 菊池 英維

副 委 員 長 石田 康行

委 員 横山 晃子, 下窪 徹, 高橋 聡,

國枝 良行, 永野 元章, 高村 一紘

学 生 委 員 家村 和奈, 宮本貴由樹, 野間 貫太, 安丸 佳苗

担 当 副 会 長 金丸 吉昌

担 当 理 事 荒木 早苗, 高木 純一, 佐々木 究, 田畑 直人

事 務 局 学術広報課 弓削 圭介, 久永 夏樹

印刷所 有限会社 中川印刷 落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)